

新座市公共施設再配置計画審議会 (令和6年度 第2回)

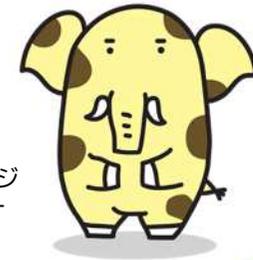


3 議事

- (1) 新座市公共施設再配置計画策定に向けた
市民アンケート調査結果について
- (2) 利用者アンケート調査結果について
- (3) 施設の現状と課題
- (4) 今後の予定について

(1) 新座市公共施設再配置計画策定
に向けた市民アンケート調査結果
について

新座市イメージ
キャラクター
ゾウキリン



(1) 市民アンケート調査結果

資料2:1~2頁
参考資料2-1:2頁

1.調査概要

【1-1 調査対象及び調査方法】

対象施設:94施設(参考資料2-1の2頁参照)

調査対象:市内在住の18歳以上の市民

調査件数:3,000件

抽出方法:住民基本台帳による無作為抽出(年代及び居住地区区分による)

調査方法:郵送による配布・回収(Webによる回答可)

【1-2 調査期間と回答結果】

配布期間:令和7年1月7日から順次発送

回答期限:令和7年1月27日

・Web回答は同日

・郵送は2月3日到着分

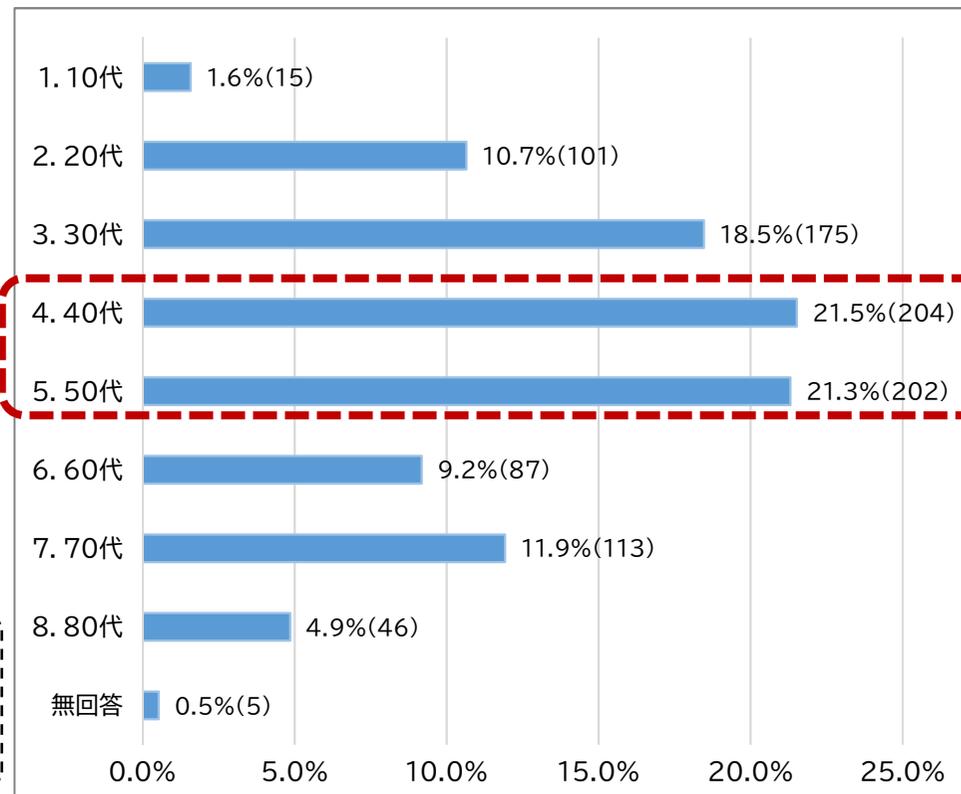
回答数:948件

・紙面回答:633件

・Web回答:315件

回答率:31.6%

図表1 回答者の年齢



【参考】

立地適正化計画におけるアンケート調査:約40%

公共交通に関するアンケート調査:約45%

(1) 市民アンケート調査結果

資料2:5頁
参考資料2-1:5頁

2.調査結果

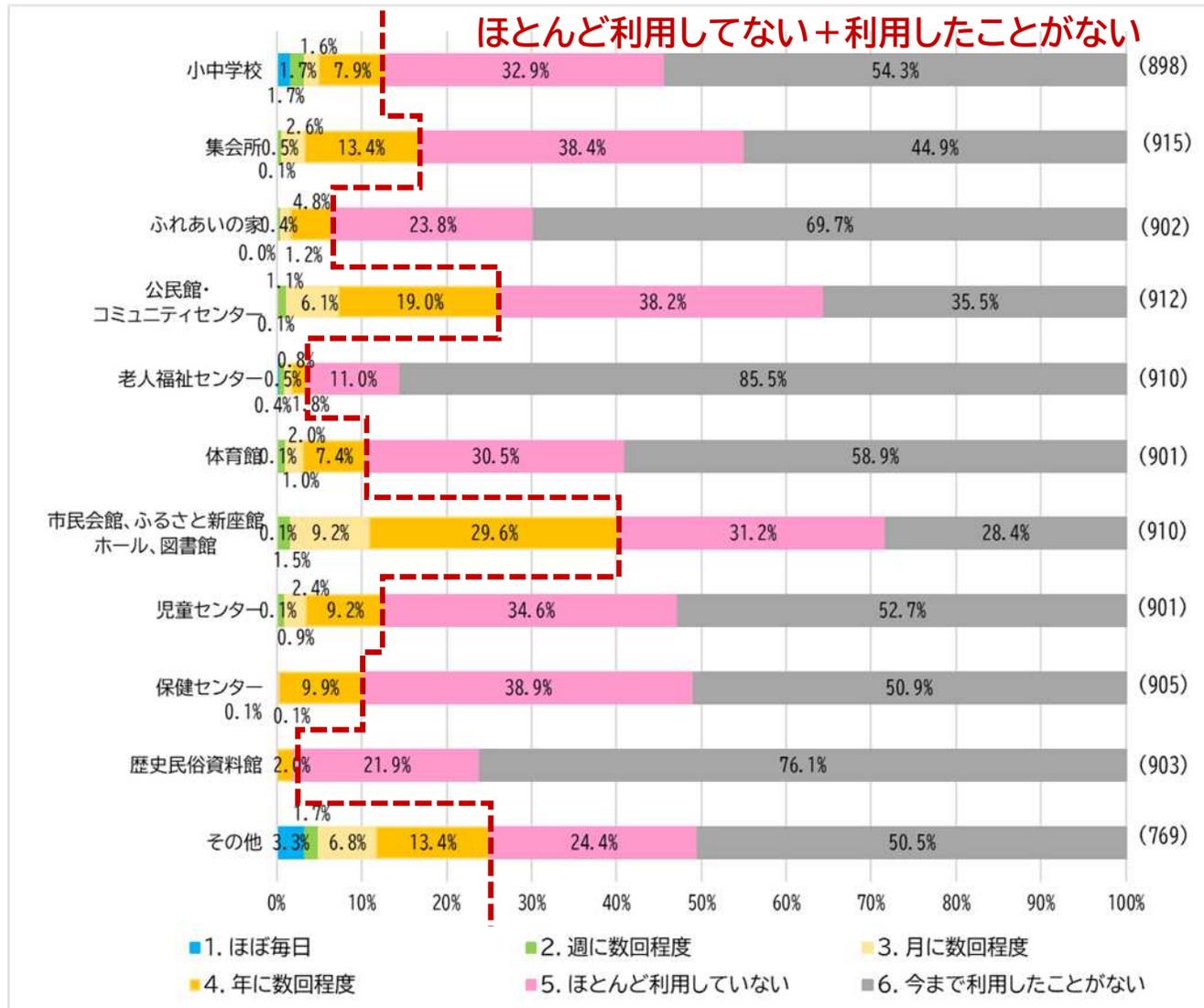
【2-1 公共施設の利用頻度】

市民会館等の文化施設系以外の施設はほとんど利用していないとの回答



ごく限られた人しか継続的に公共施設を利用していない…

図表2 公共施設の利用頻度



2.調査結果

【2-2 公共施設の満足度】

- ①サービス面
- ②建物や設備
- ③施設の配置状況

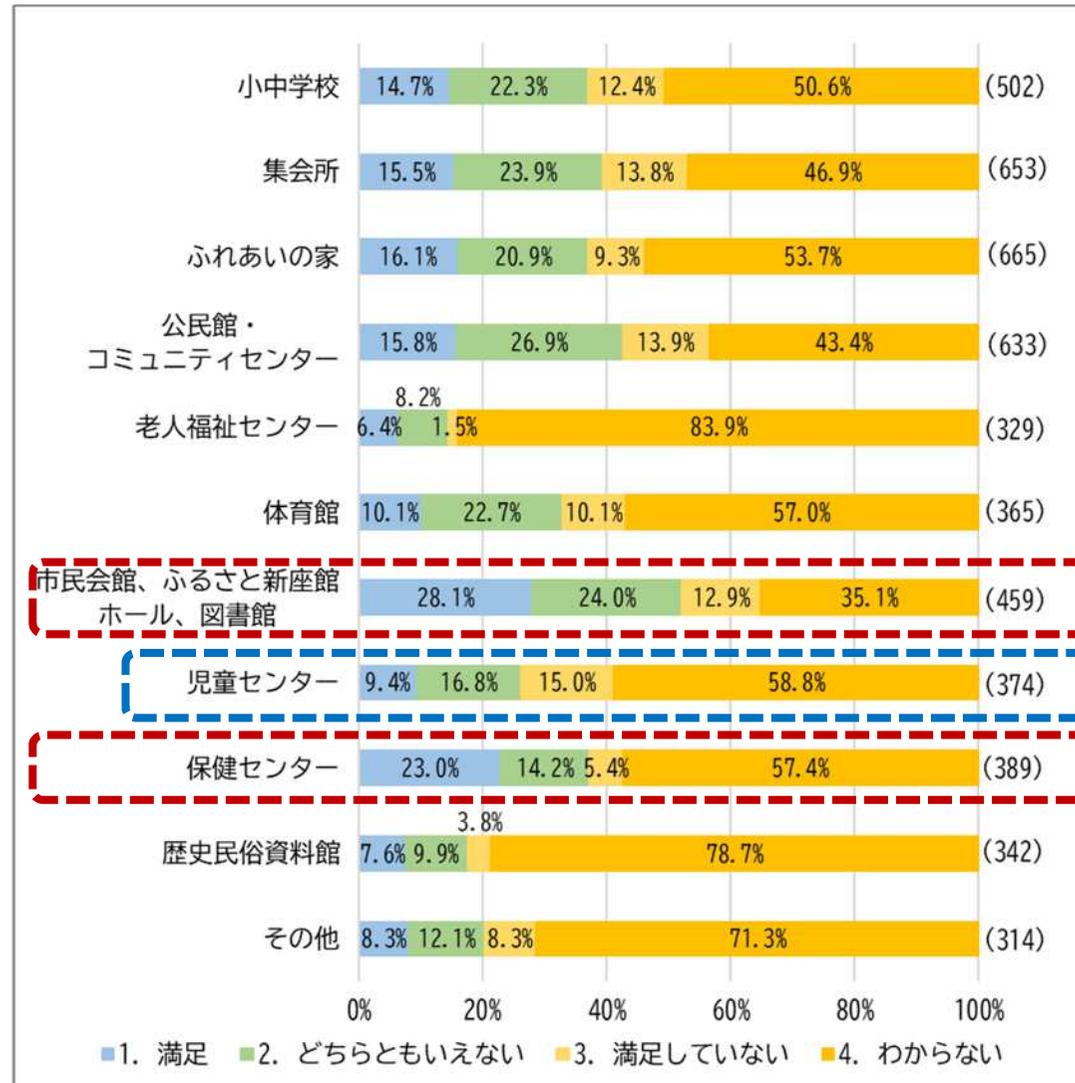
上記3項目について満足度を回答

結果、どの施設についても「わからない」の回答が最も多い

ただし、②建物や設備の回答から新しい施設については満足度が高く、老朽化している施設については満足度が低くなっている

満足:ふるさと新座館、保健センター
不満:児童センター

図表3 公共施設の満足度 ②建物や設備



2.調査結果

【2-2 公共施設の満足度】

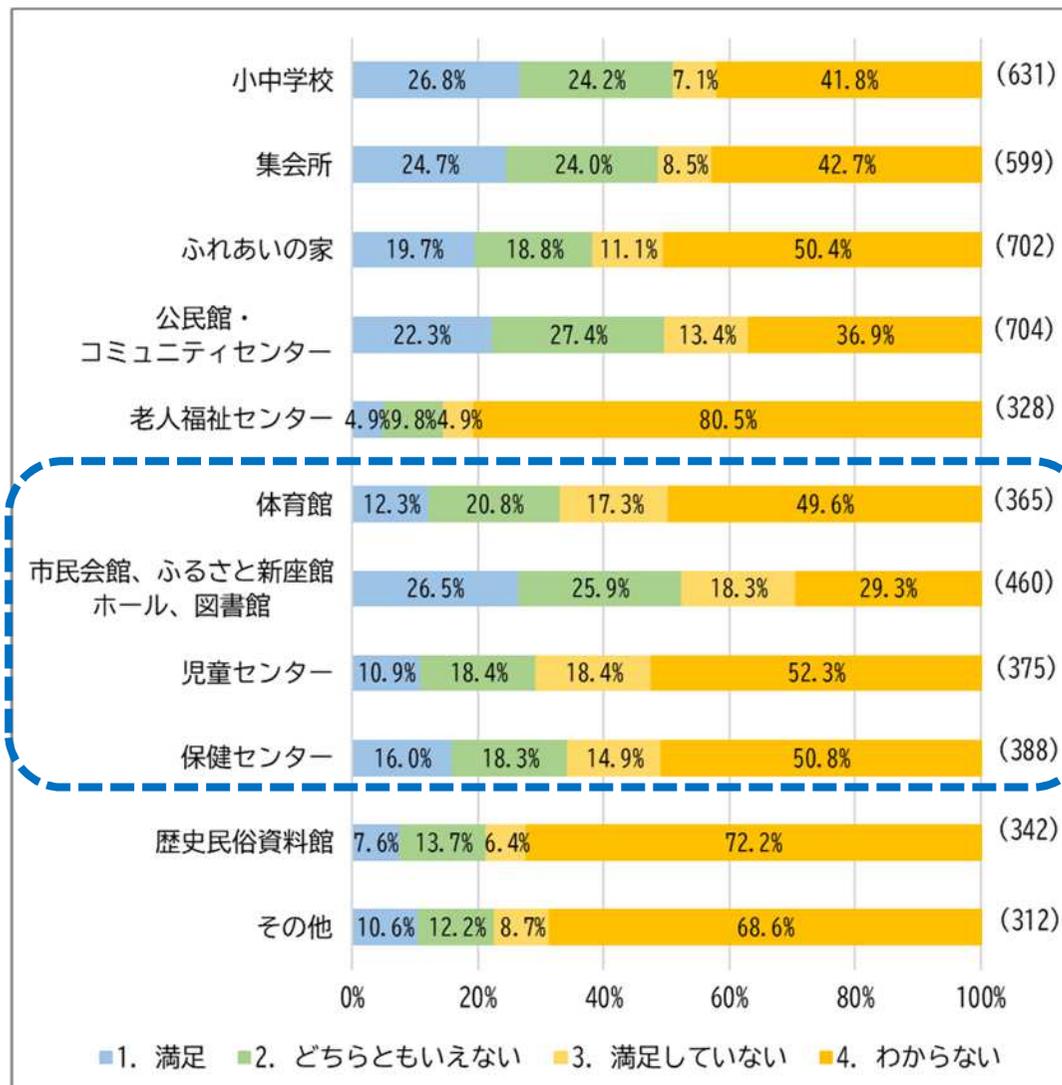
③施設の配置状況

市内に一つしかない施設については「満足していない」の割合が高くなっています

「満足していない」の回答割合

- ・体育館:17.3%
- ・市民会館等:18.3%
- ・児童センター:18.4%
- ・保健センター:14.9%

図表4 公共施設の満足度 ③施設の配置状況



2.調査結果

【2-3 公共施設の方策】

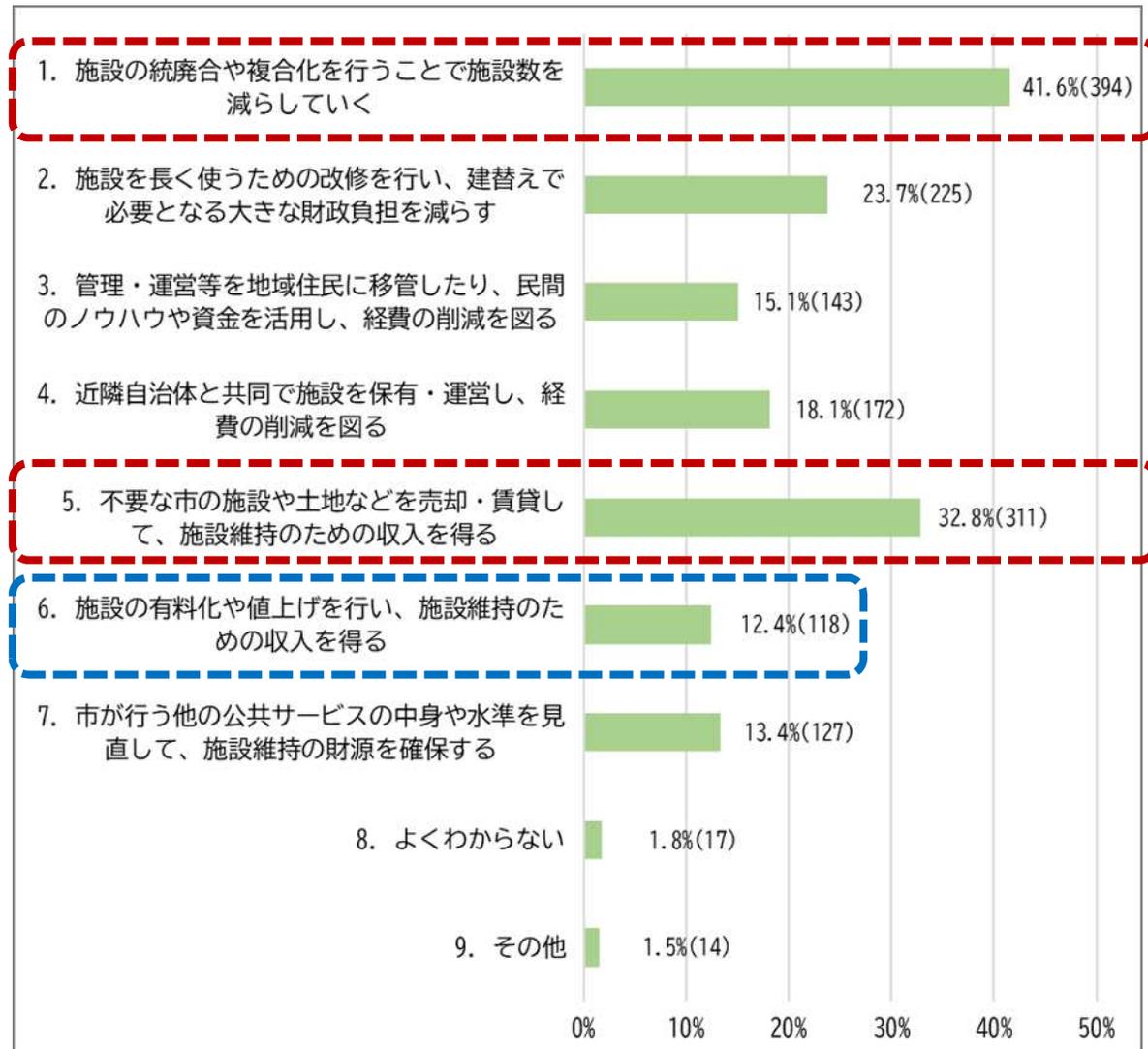
図表5 公共施設の方策

公共施設を維持可能とするための方策

- ・統廃合・複合化が4割以上
- ・施設や土地を活用して収入を得るが3割以上

なお、施設の有料化や値上げについては、最も回答が少ない(よくわからない・その他を除く)

- ・施設の有料化や値上げ1割



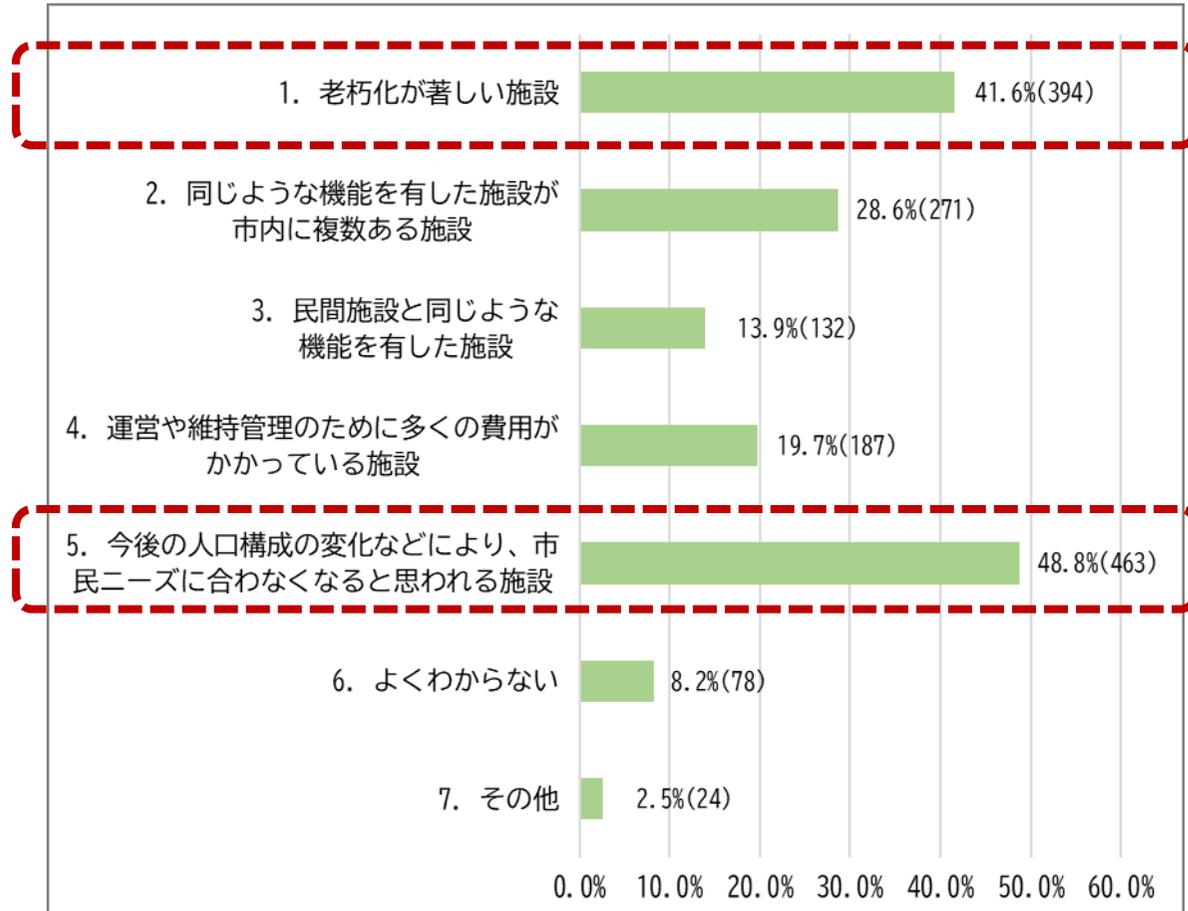
2.調査結果

【2-4 公共施設の統合・削減】

統合及び削減すべき施設

- ・市民ニーズに合わなくなると
思われる施設が5割
- ・老朽化が著しい施設が4割

図表6 公共施設の統合・削減



2.調査結果

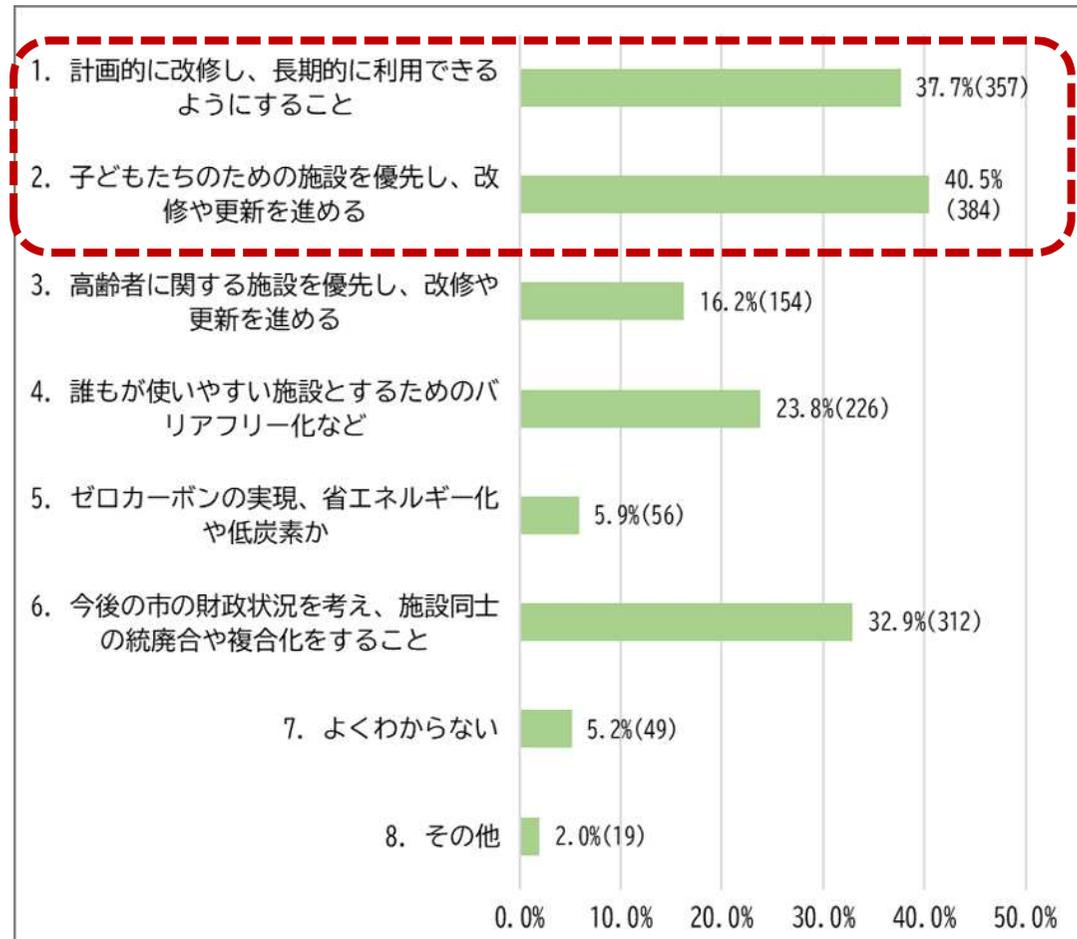
【2-5 維持した方がいい施設】

- ・保育園や児童施設など子育てに関連する施設が4割

【2-6 施策や事業で重視すべき点】

- ・子どもたちのための施設を優先が4割
- ・計画的な改修で長期間利用が約4割

図表7 公共施設の施策や事業で重視すべき方針



2.調査結果

【2-7 自由意見】

- ・自由意見の記入は349件
(概ね1/3の回答者が記入)

①公共施設全般:85件の主な意見

- ・古い
- ・遠くて不便
- ・近隣自治体との施設の相互利用を望む
- ・地域間格差の是正(一部の地域は少ない)

②公共施設:118件の主な意見

- ・子供向けの施設が少ない
- ・公園が少ない
- ・図書館が少ない

③行政に関する意見:86件

- ・市政全般
- ・財政

図表8 自由意見の分類

| 分類 | 回答数 | 構成比 |
|----------|-----|--------|
| 公共施設全般 | 85 | 24.4% |
| 公共施設 | 118 | 33.8% |
| 行政 | 86 | 24.6% |
| 交通・道路・公園 | 50 | 14.3% |
| その他 | 10 | 2.9% |
| 合計 | 349 | 100.0% |

④交通・道路・公園:50件の主な意見

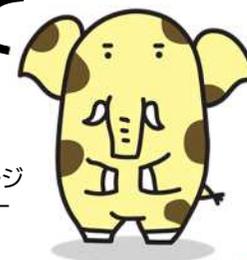
- ・コミュニティバス(にいバス)に関するもの
- ・公園の数や状態

⑤その他:10件の主な意見

- ・このアンケートそのものに関する意見

(2)利用者アンケート調査結果について

新座市イメージ
キャラクター
ゾウキリン



1.調査概要

【1-1 調査対象及び調査方法】

対象施設:20施設

- ★不特定多数の利用がある施設
- ・各ふれあいの家:5施設
- ・各公民館:5施設
- ・西堀・新堀コミュニティセンター
- ・ふるさと新座館
- ・各老人福祉センター:3施設
- ・各体育館:2施設
- ・各図書館:2施設
- ・市民会館

調査対象:対象施設利用者

調査方法:施設で直接配布し、設置したボックスへ投函

【1-2 調査期間と回答結果】

実施期間:令和6年8月8日から
順次

回答期限:令和6年8月29日

回答数:1,742件

図表9 利用者アンケート調査対象施設及び回答数

| No. | 類型 | 施設名 | 回答数 | 所管課 |
|-----|-------|-----------------|-------|-----------|
| 1 | 集会施設 | 中央公民館 | 147 | 中央公民館 |
| 2 | | 大和田公民館 | 194 | 中央公民館 |
| 3 | | 野火止公民館 | 421 | 中央公民館 |
| 4 | | 畑中公民館 | 93 | 中央公民館 |
| 5 | | 栄公民館 | 34 | 中央公民館 |
| 6 | | 栗原公民館 | 37 | 中央公民館 |
| 7 | | 西堀・新堀コミュニティセンター | 24 | 中央公民館 |
| 8 | | 新座ふれあいの家 | 38 | 地域活動推進課 |
| 9 | | 北野ふれあいの家 | 36 | 地域活動推進課 |
| 10 | | 東ふれあいの家 | 23 | 地域活動推進課 |
| 11 | | 新堀ふれあいの家 | 22 | 地域活動推進課 |
| 12 | | 栗原ふれあいの家 | 31 | 地域活動推進課 |
| 13 | | 市民会館 | 18 | 生涯学習スポーツ課 |
| 14 | 図書館 | 中央図書館 | 105 | 中央図書館 |
| 15 | | 福祉の里図書館 | 3 | 中央図書館 |
| 16 | 体育施設 | 市民総合体育館 | 68 | 生涯学習スポーツ課 |
| 17 | | 福祉の里体育館 | 25 | 生涯学習スポーツ課 |
| 18 | 高齢者施設 | 老人福祉センター | 197 | 長寿はつらつ課 |
| 19 | | 第二老人福祉センター | 179 | 長寿はつらつ課 |
| 20 | | 福祉の里老人福祉センター | 47 | 長寿はつらつ課 |
| 合計 | | | 1,742 | |

2.調査結果

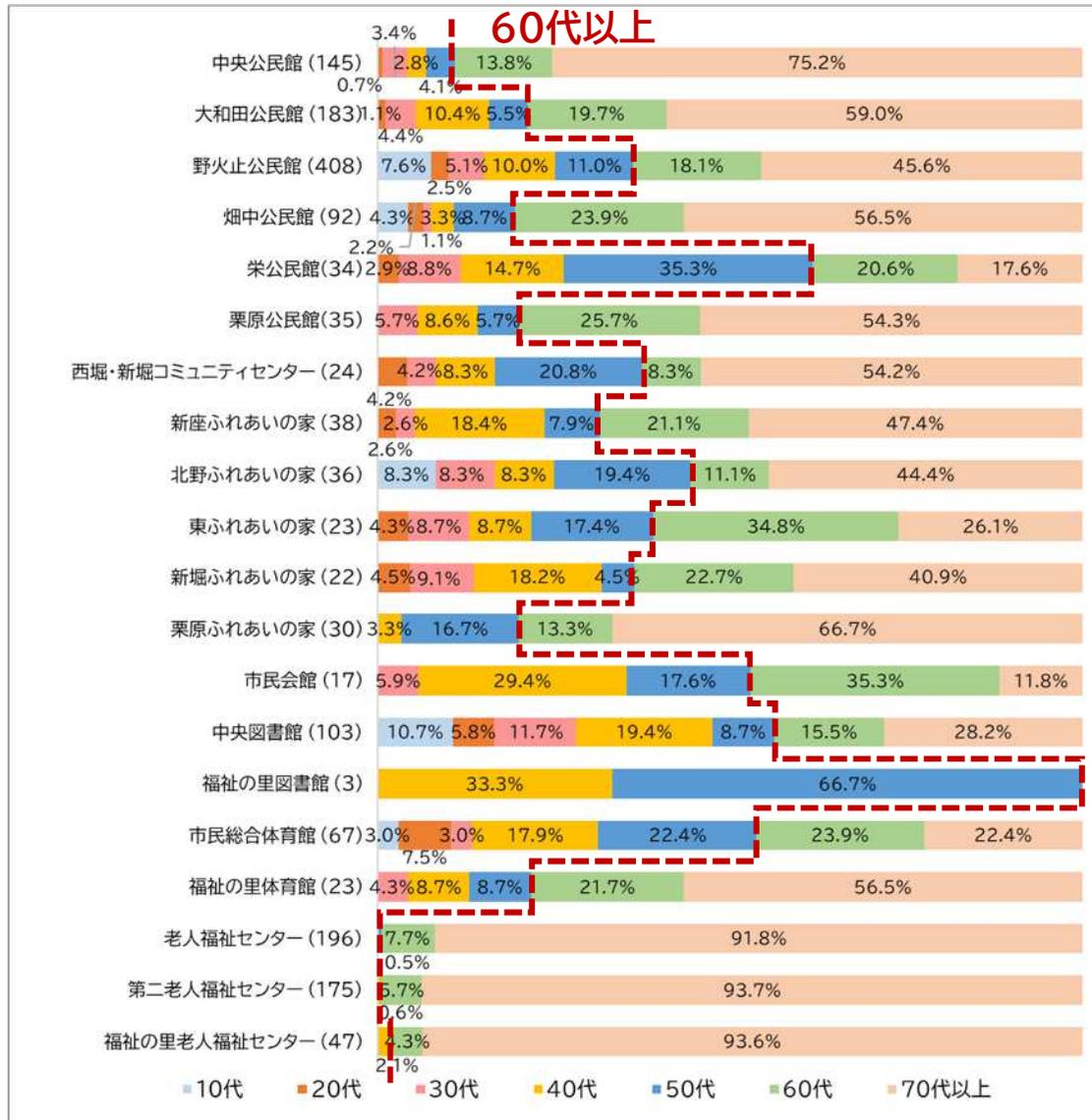
【2-1 利用者の年代】

- ・ほとんどの施設で「70代以上」の割合が最も高い
- ・栄公民館、市民会館、中央図書館、市民総合体育館では50代以下の割合が比較的多い

【2-2 利用者の居住地区】

- ・施設が立地している地区及び隣接している地区が多い
 - ・一部の施設では市外居住者の割合も高い
- 野火止公民館:23.5%
 栄公民館:20.6%
 新堀ふれあいの家:22.7%
 市民会館:23.5%

図表10 利用者アンケート調査回答者の年代



2.調査結果

【2-3 利用目的】

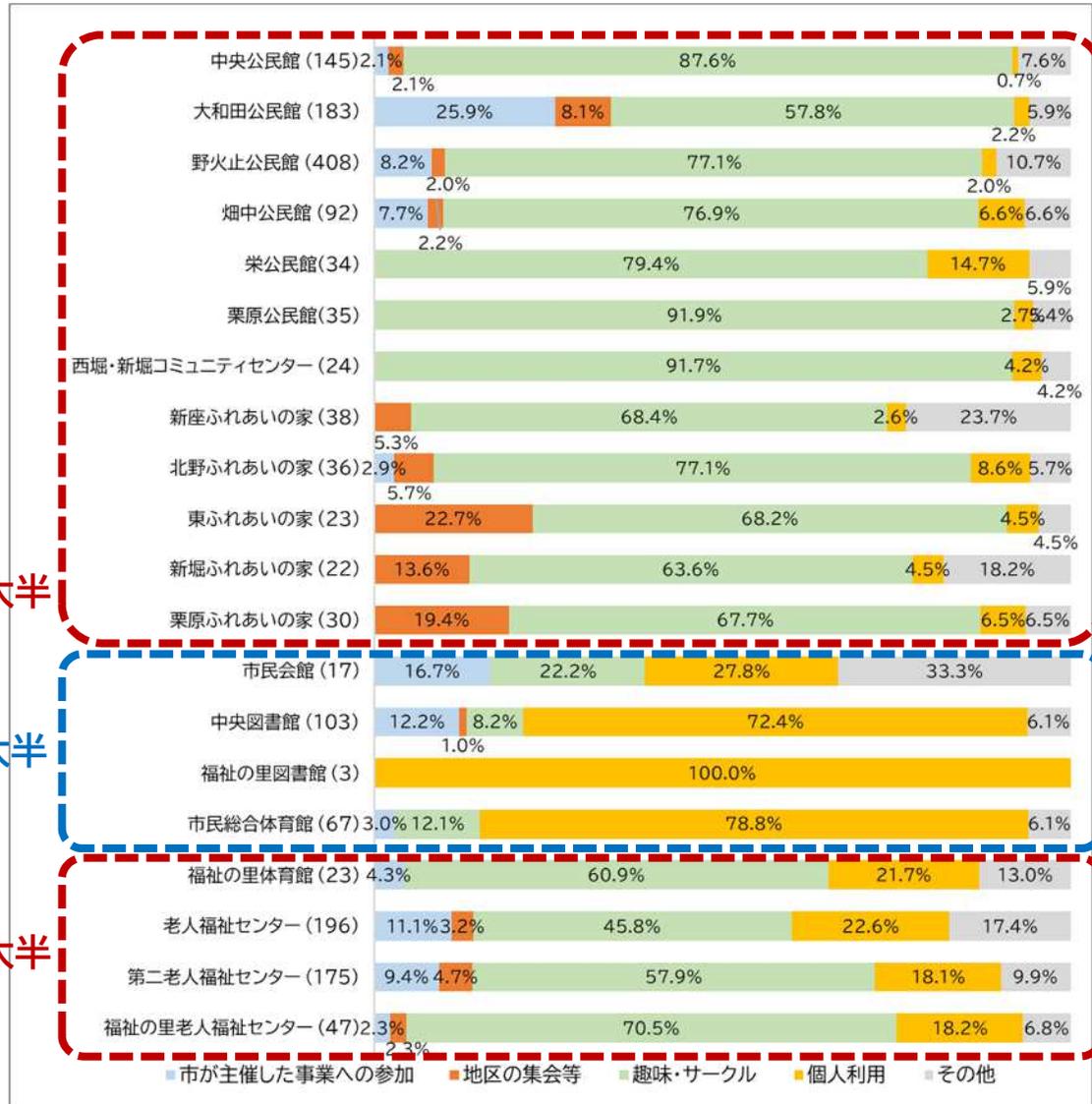
- ・集会施設や各老人福祉センターは「趣味・サークル」の割合が最も高い
- ・市民会館、各図書館、市民総合体育館では「個人利用」の割合が最も高い

図表11 利用目的

趣味・サークルが大半

個人利用が大半

趣味・サークルが大半



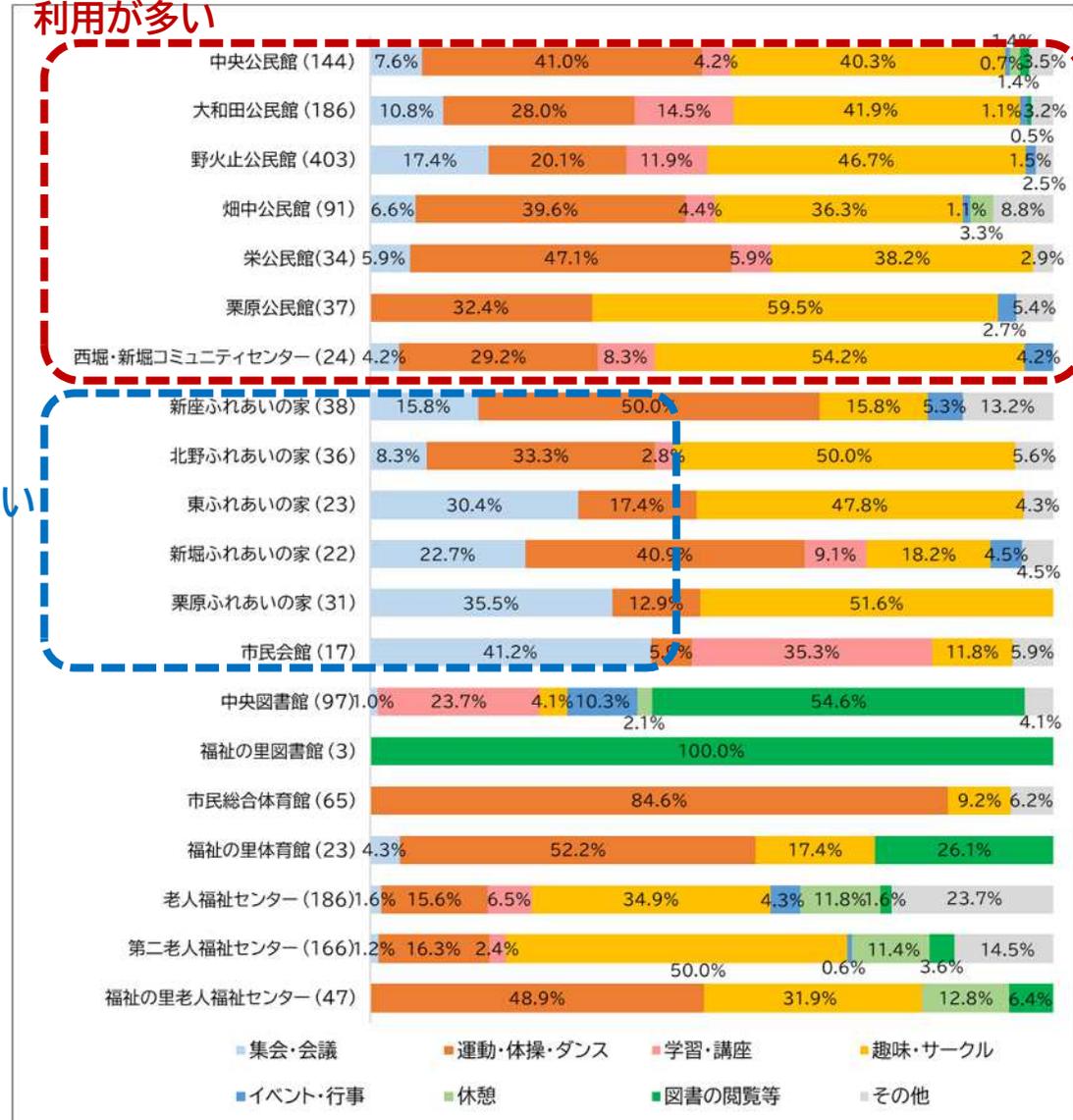
2.調査結果

【2-4 利用内容】

- ・各公民館では「趣味・サークル」の割合が最も高く、次いで「運動・体操・ダンス」の順となっている
- ・各ふれあいの家、市民会館では「集会・会議」の割合も高い
※新座・北野を除く
- ・老人福祉センターと第二老人福祉センターの「その他」は「浴室利用」と想定される

趣味・サークルの利用が多い

図表12 利用内容



集会・会議が多い

2.調査結果

【2-5 利用した場所(部屋)】

- ・集会施設では「体育館」や「軽体育室」などの運動ができる場所(部屋)の利用が多い
- ・老人福祉センターと第二老人福祉センターは「浴室」の利用が多い

図表13 利用した場所(部屋)の上位3つ

| 施設名 | 主に利用した場所(部屋)【上位3つ】 | | |
|-----------------|--------------------|------------------|------------------|
| | 1位 | 2位 | 3位 |
| 中央公民館 | 33 体育館 | 23 レクリエーション室 | 18 視聴覚室 |
| 大和田公民館 | 51 軽体育室 | 29 研修室 | 28 和室 |
| 野火止公民館 | 134 講義室 | 80 音楽室 | 68 軽体育室 |
| 畑中公民館 | 33 軽体育室 | 21 講義室 | 15 児童室 |
| 栄公民館 | 11 軽体育室 | 8 会議室 | 4 児童室 |
| 栗原公民館 | 12 軽体育室 | 10 会議室 | 5 実習室、児童室 |
| 西堀・新堀コミュニティセンター | 5 児童遊戯室 | 4 軽体育室 | 3 郷土資料展示室、集会室 |
| 新座ふれあいの家 | 20 軽体育室 | 10 会議室 | 2 実習室、和室 |
| 北野ふれあいの家 | 12 会議室 | 11 軽体育室 | 8 音楽室 |
| 東ふれあいの家 | 8 会議室 | 5 和室 | 4 ホール |
| 新堀ふれあいの家 | 10 ホール | 4 和室 | 3 会議室 |
| 栗原ふれあいの家 | 10 ホール | 8 実習室 | 5 会議室 |
| 市民会館 | 13 会議室 | 3 ホール | 2 リハーサル室 |
| 中央図書館 | 39 図書室 | 15 学習室 | 5 会議室 |
| 福祉の里図書館 | 3 図書室 | - | - |
| 市民総合体育館 | 43 トレーニング室 | 3 ウエイトリフティング室 | 3 武道場 |
| 福祉の里体育館 | 12 アリーナ | - | - |
| 老人福祉センター | 28 浴室 | 26 大広間 | 20 会議室 |
| 第二老人福祉センター | 58 大広間 | 34 大浴場 | 10 娯楽室 |
| 福祉の里老人福祉センター | 9 機能訓練室 | 6 講義室 | 5 浴室 |

体育館・軽体育室
の利用が多い

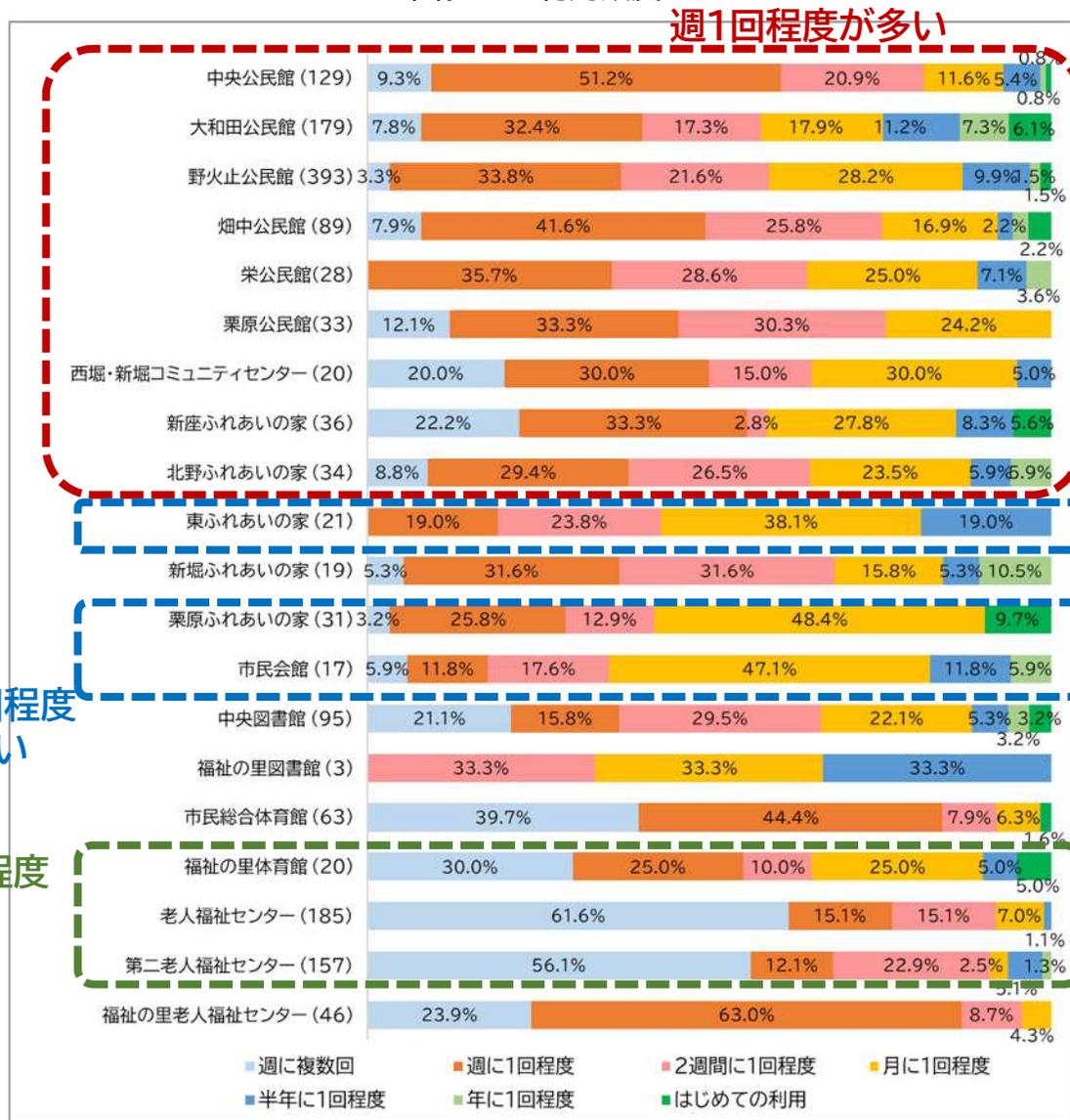
浴室利用が多い

2.調査結果

【2-6 利用頻度】

- ・集会施設では「週に1回程度」の割合が最も高い
- ・東ふれあいの家、栗原ふれあいの家、市民会館では「月に1回程度」の割合が高い
- ・福祉の里体育館、老人福祉センター、第二老人福祉センターは「週に複数回」の割合が高い

図表14 利用頻度

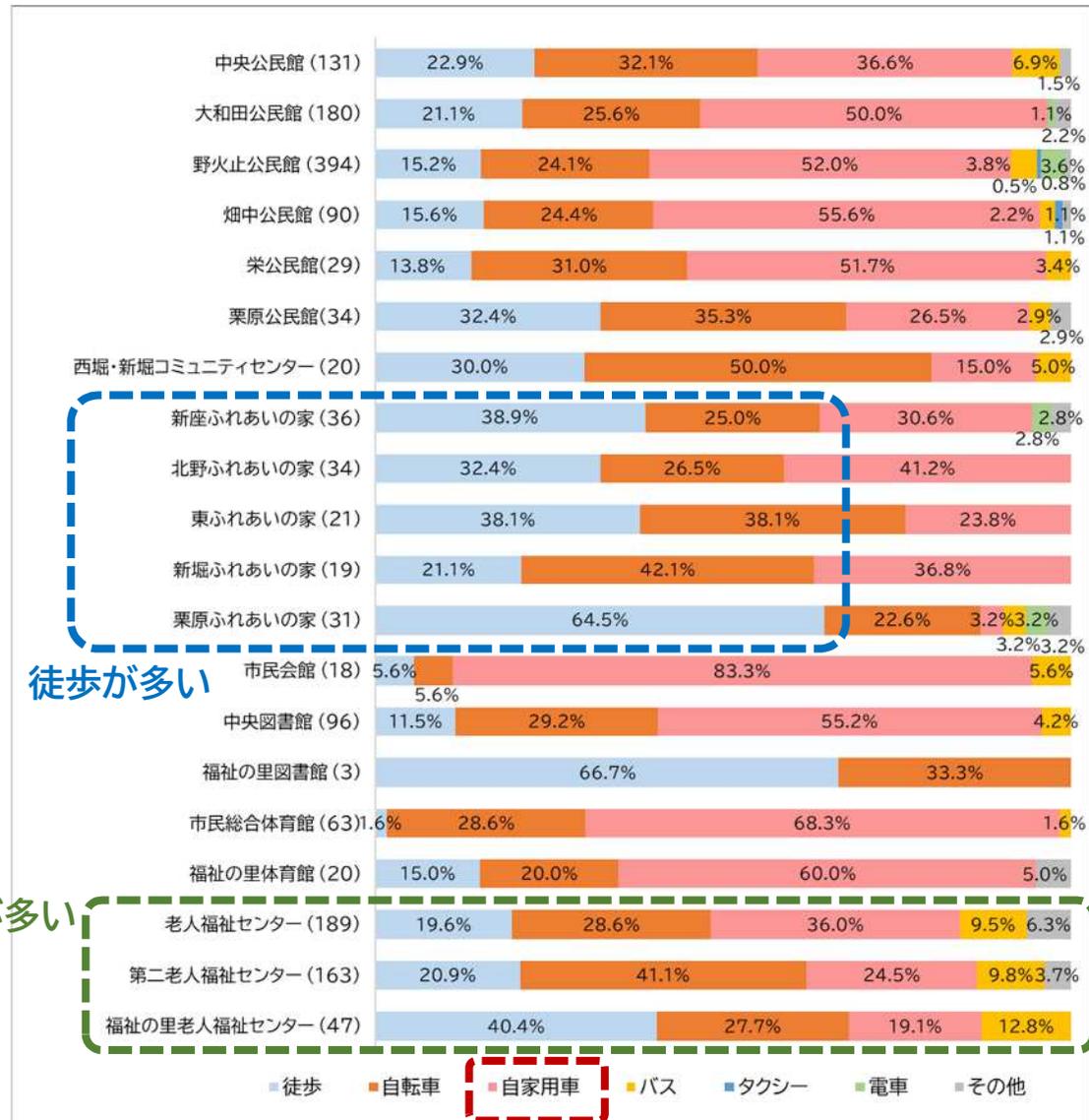


2.調査結果

【2-7 施設への交通手段】

- ・ほとんどの施設で「自家用車」の割合が最も高く、次いで「自転車」や「徒歩」となっている
- ・各ふれあいの家では「徒歩」の割合が最も高い
※新堀除く
- ・各老人福祉センターは「徒歩」と「自転車」の合計が「自家用車」を上回り、バスの割合も1割程度ある

図表15 施設への交通手段



2.調査結果

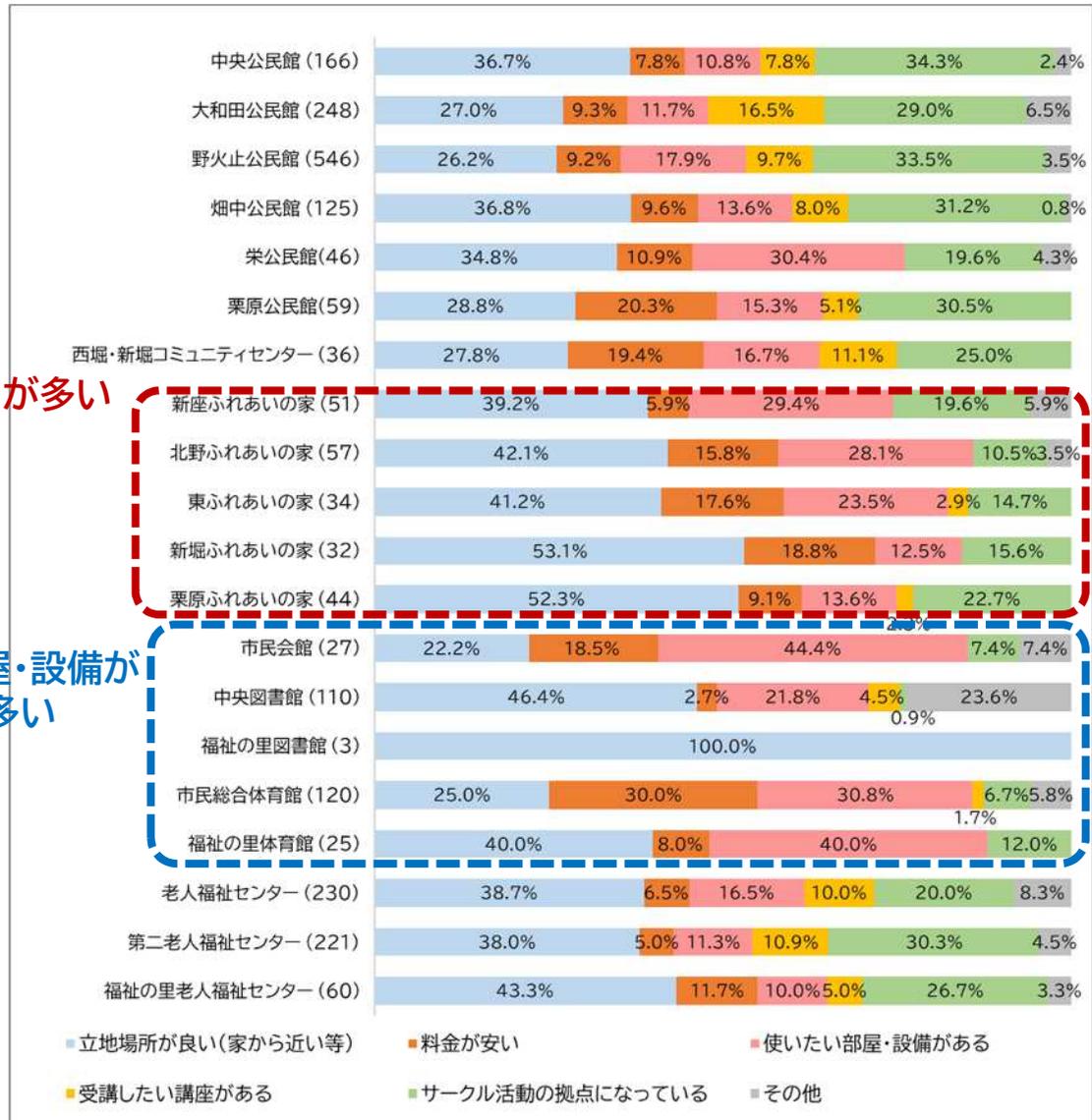
【2-8 利用した理由】

- ・多くの施設で「立地が良いから（家から近い等）」の割合が最も高くなっている
- ・特に各ふれあいの家ではその割合が4～5割と高い
- ・市民会館、市民総合体育館、福祉の里体育館では「使いたい部屋・設備がある」の割合が高い

立地が良いが多い

使いたい部屋・設備があるが多い

図表16 利用した理由

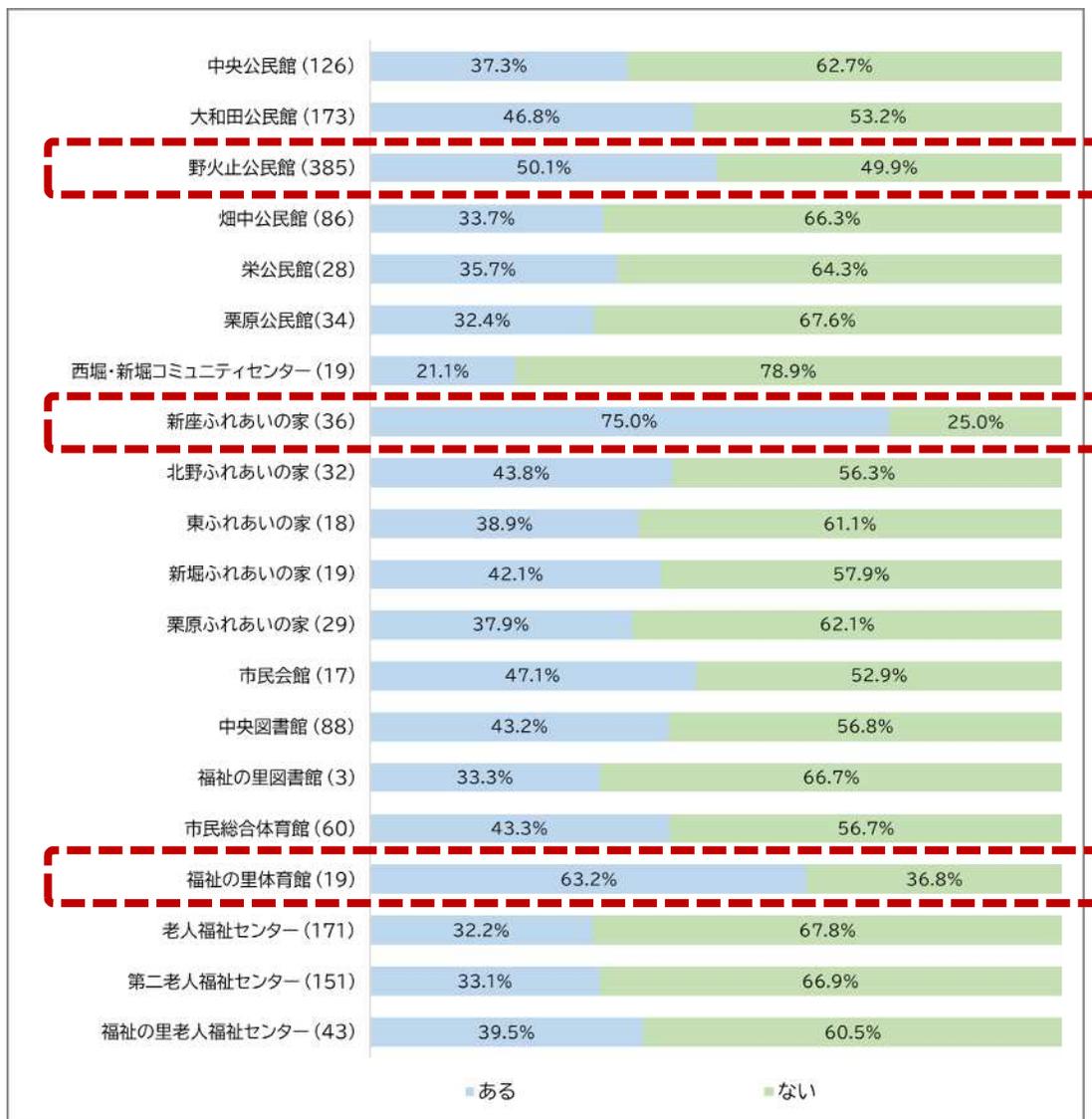


2.調査結果

【2-9 他に利用する施設】

・野火止公民館、新座ふれあいの家、福祉の里体育館では、他に利用する施設が「ある」が多い

図表17 他に利用する施設



【2-10 自由意見】

・自由意見の記入は380件

・集会施設では「トイレの洋式化」「エレベーター設置」、「にいバスに関する意見」などが多い

3.類似のアンケート調査結果

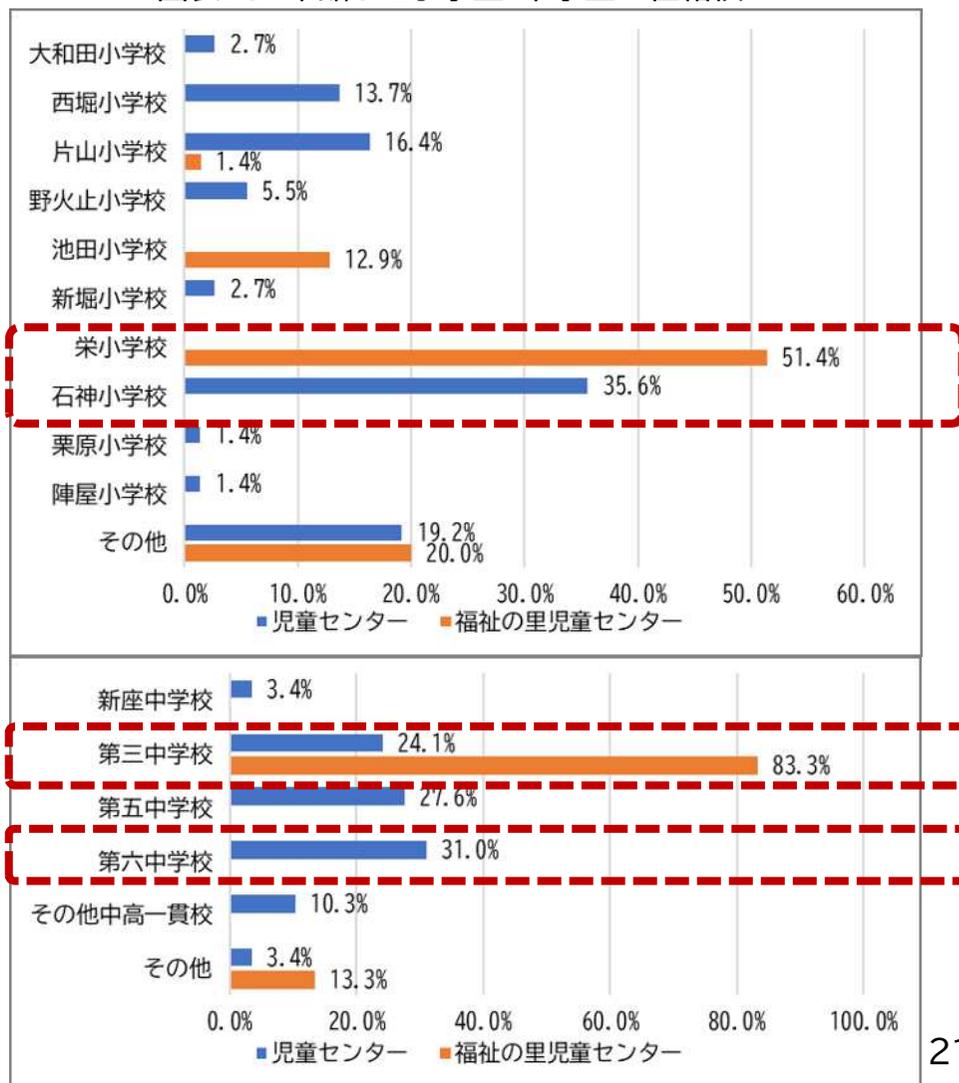
－新座市児童センター・福祉の里児童センター利用者アンケート調査結果より(抜粋)－

【3-1 調査概要】

調査対象:来館した小学生・中学生・大人
 調査方法:ヒアリング、受付にて配布・回収
 調査期間:
 児童センター 令和6年1月5日～2月28日
 福祉の里 令和5年12月28日～
 令和6年1月12日

回答者数:
 児童センター 小学生74人、中学生30人
 福祉の里 小学生70人、中学生30人

図表18 来館した小学生・中学生の在籍校



【3-2 回答者の在籍校】

- ・小学生は、児童センターでは石神小学校
福祉の里児童センターでは栄小学校が最も多い
- ・中学生は、児童センターでは第六中学校
福祉の里児童センターでは第三中学校が最も多い

本多:72,76ページ、福祉の里:49,54ページ参照

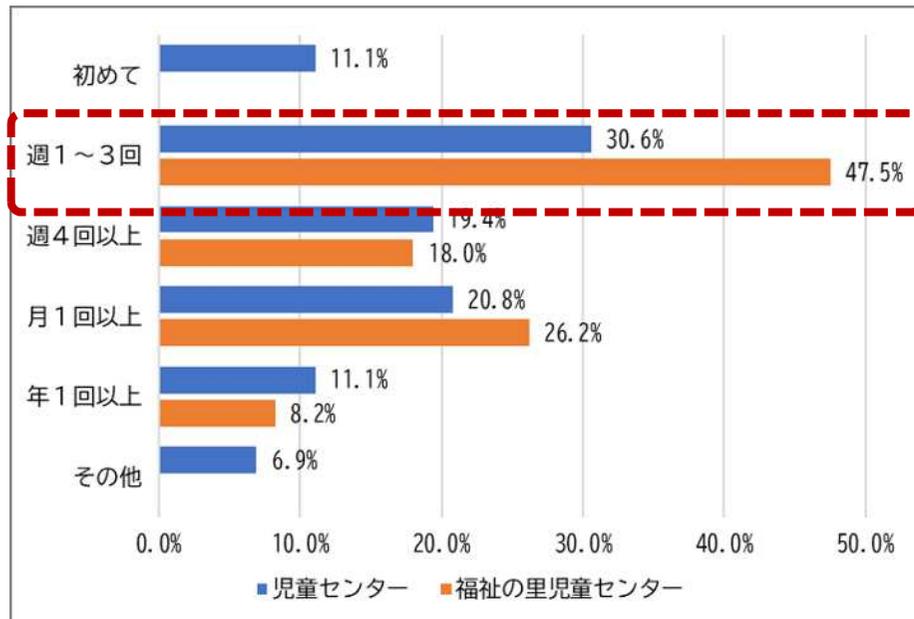
3.類似のアンケート調査結果

－新座市児童センター・福祉の里児童センター利用者アンケート調査結果より(抜粋)－

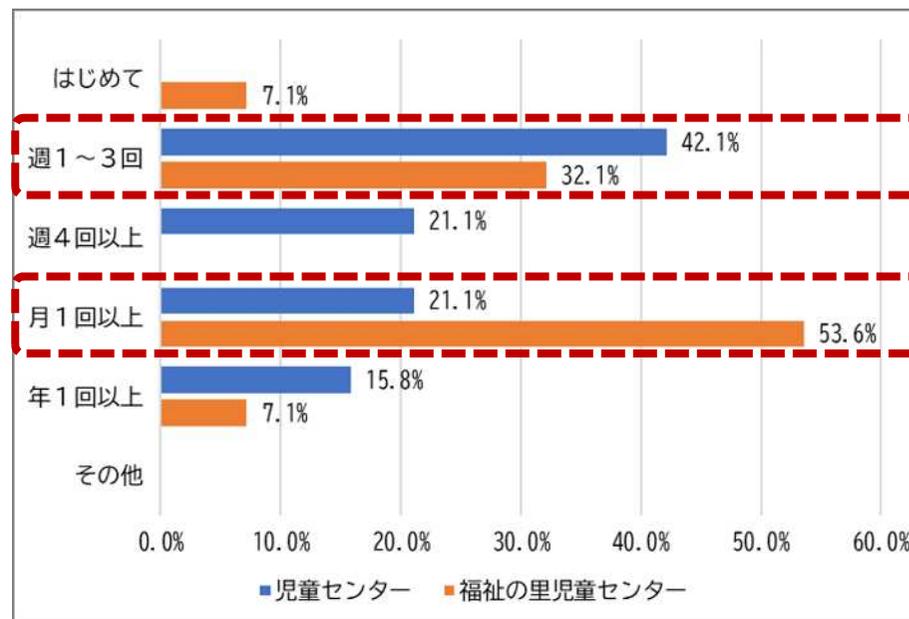
【3-2 利用頻度】

- ・小学生の利用頻度は、児童センター、福祉の里児童センター共に「週1～3回」が最も多い
- ・中学生の利用頻度は、児童センターでは「週1～3回」、福祉の里児童センターでは「月1回以上」が最も多い

図表19 小学生の利用頻度



図表20 中学生の利用頻度



本多:72,76ページ、福祉の里:49,54ページ参照

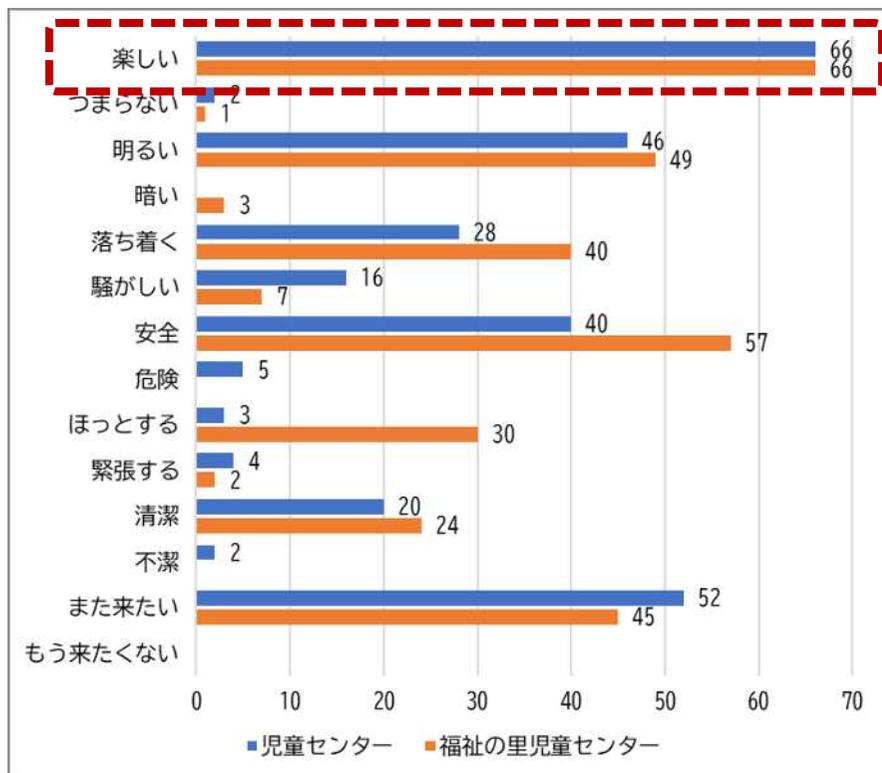
3.類似のアンケート調査結果

－新座市児童センター・福祉の里児童センター利用者アンケート調査結果より(抜粋)－

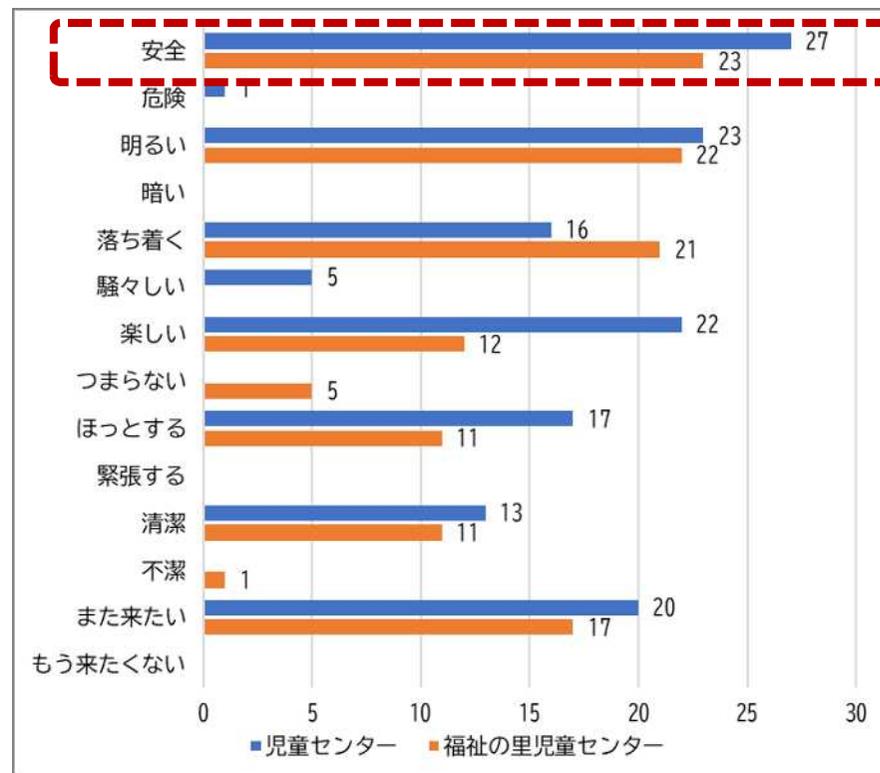
【3-3 施設の印象】

- ・小学生では、児童センター、福祉の里児童センター共に「楽しい」が最も多い
- ・中学生では、児童センター、福祉の里児童センター共に「安全」が最も多い

図表21 児童センターの印象(小学生)



図表22 児童センターの印象(中学生)



(3) 施設の現状と課題

新座市イメージ
キャラクター
ゾウキリン



1.対象施設の類型と分析事項

【1-1 対象施設の類型区分】

本計画対象施設:144施設

区分目的:提供している市民サービスの内容等や今後行う施設評価の検討方法を踏まえ
17類型に区分

図表23 対象施設の17類型

| No. | 類型 | 対象施設 |
|-----|----------------|---|
| 1 | 公民館・コミュニティセンター | 各公民館、各コミュニティセンター |
| 2 | ふれあいの家 | 各ふれあいの家 |
| 3 | 集会所 | 各集会所 |
| 4 | 高齢福祉施設 | 各老人福祉センター |
| 5 | 障がい福祉施設 | 障がい者福祉センター、児童発達支援センター、福祉工房さわらび、ふらっと、福祉工房楓、けやきの家、くるみの木、にいざ生活支援センター、アイズ、こぶしの森 |
| 6 | スポーツ施設 | 市民総合体育館、福祉の里体育館 |
| 7 | 庁舎等 | 市役所本庁舎、第二庁舎、第三庁舎、第四庁舎、第五庁舎、新座駅北口土地区画整理事務所 |
| 8 | 文化施設等 | 市民会館、ふるさと新座館（ホール）、歴史民俗資料館、遺跡資料作業室、中央図書館、福祉の里図書館 |
| 9 | 保健施設 | 保健センター |
| 10 | 児童センター | 児童センター、福祉の里児童センター |
| 11 | その他施設 | シルバー人材センター、市営墓園 |
| 12 | 幼児・児童施設 | 各放課後児童保育室、東野ココフレンド |
| 13 | 学校 | 各小中学校 |
| 14 | 幼稚園・保育園・こども園 | 各保育園 |
| 15 | 消防施設 | 各消防団分団車庫 |
| 16 | 公園施設 | 総合運動公園管理事務所、栄緑道管理事務所 |
| 17 | 自転車駐車場等 | 各自転車駐車場、公衆トイレ |

1.対象施設の類型と分析事項

【1-2 分析事項】

分類した17類型について、施設所管課が作成した施設カルテのデータを基に、以下の5つの施設評価項目について分析し、類型別の現状と課題を取りまとめた。

5つの施設評価項目

- 1.行政関与の必要性、設置目的の整合性…法令の規定、設置目的と実態の乖離
- 2.利用状況の妥当性…利用者数、稼働率(類型内比較、時間別・部屋別の状況等)
- 3.コストの妥当性…受益者負担割合や費用対効果など、類型内・他類型との比較
- 4.機能や運営の代替性…民間等のサービス提供状況、運営手法の妥当性等
- 5.建物の機能の妥当性…築年数、改修・修繕履歴、劣化状況、土地所有状況等

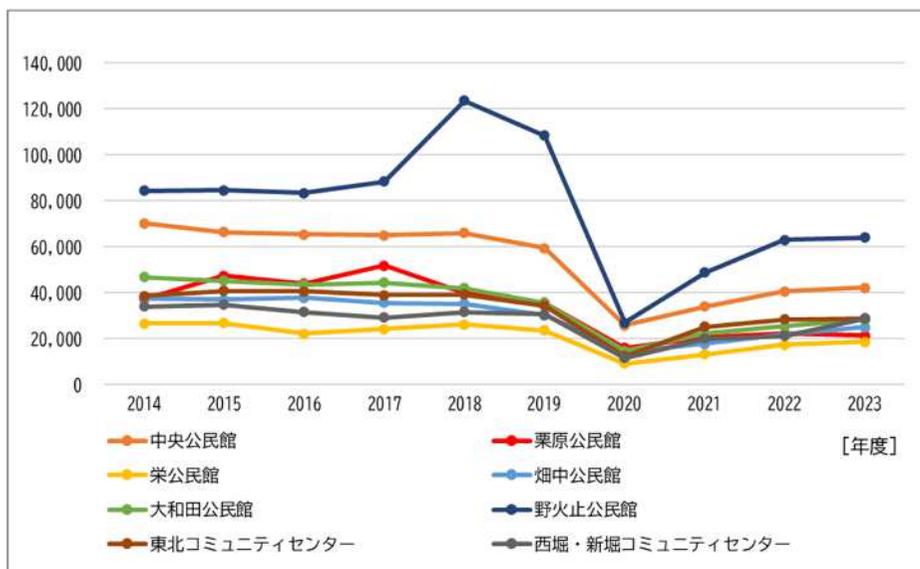
2. 類型別の現状と課題

【2-1 公民館・コミュニティセンター(集会施設)】 8施設

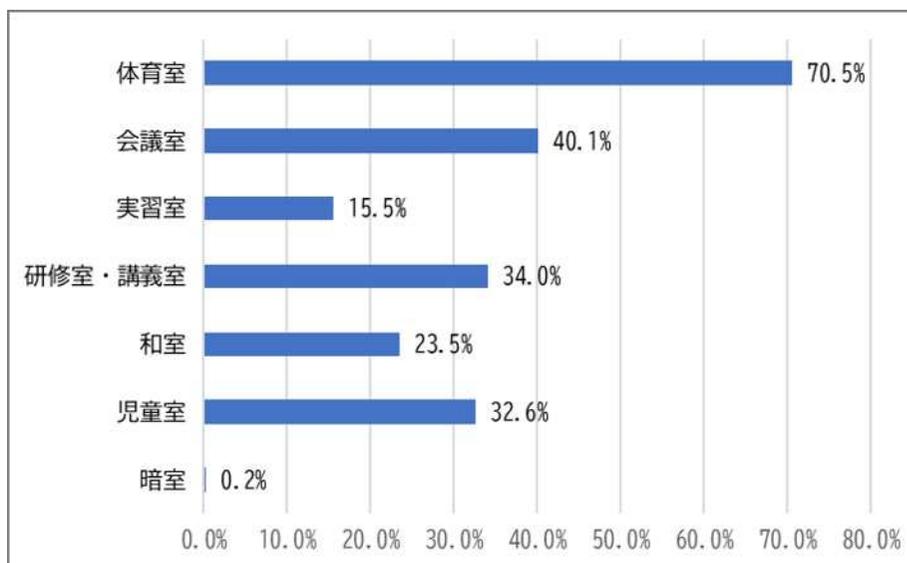
利用状況の妥当性

- ・利用者数はコロナ禍以前の水準に回復していない
- ・各部屋に余剰枠数が多く、特に暗室、実習室の稼働率が低い
- ・全体では「西堀・新堀コミュニティセンター」の稼働率が低く、公民館の中では「畑中公民館」が体育室以外の稼働率が低い

図表24 公民館・コミュニティセンター利用者数の推移



図表25 部屋別稼働率(2023年度)



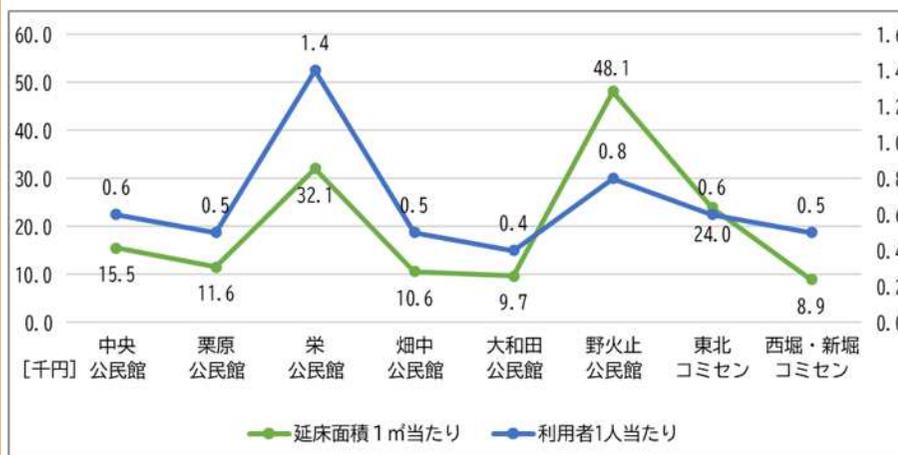
2. 類型別の現状と課題

【2-1 公民館・コミュニティセンター(集会施設)】 8施設

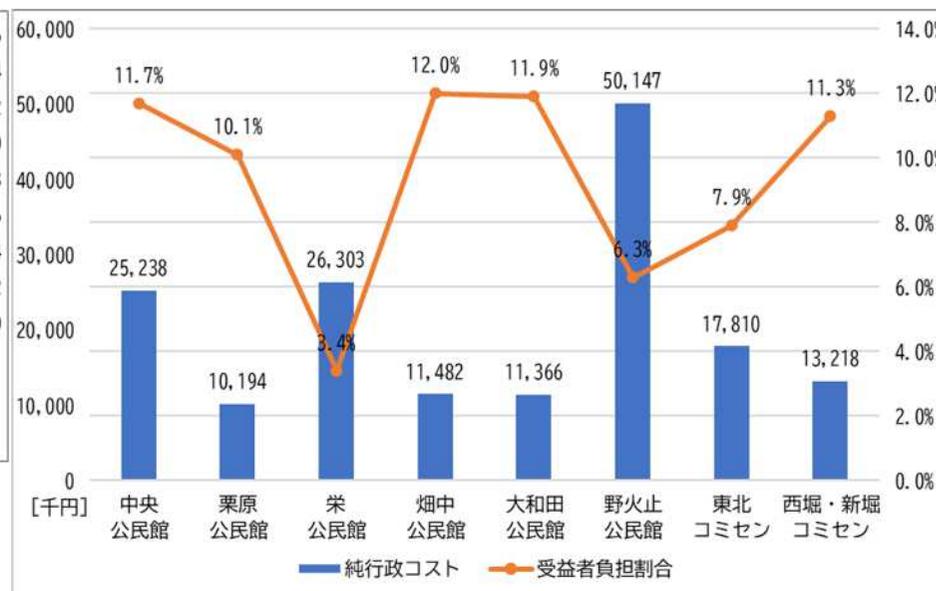
コストの妥当性

- ・利用者1人当たり及び延床面積1㎡当たりの純行政コストが共に高いのは「栄公民館」と「野火止公民館」
- ・「栄公民館」と「野火止公民館」は、純行政コストが類型平均を超え、受益者負担割合も低い
(注)純行政コストとは、施設(建物)を持っていることで発生する費用の合計額から、施設(建物)を持っていることで発生する収入(利用料金など)の合計額を差し引いた金額のこと。

図表26 利用者1人当たり・延床面積1㎡当たりの純行政コスト



図表27 施設別純行政コストと受益者負担割合



2. 類型別の現状と課題

【2-1 公民館・コミュニティセンター(集会施設)】 8施設

機能や運営の妥当性

- ・民間では各種習い事や貸しスタジオなどが類似したサービス・機能と考えられ、市有施設ではふれあいの家や集会所が同様の機能を有している。

建物の機能の妥当性

- ・築40年を超える施設が4施設あり老朽化対策が課題となる
- ・「中央公民館」と「栗原公民館」は一部借地となっている

その他

- ・利用者アンケート調査結果では、利用目的が「趣味・サークル」や「運動・体操・ダンス」が大半を占め、体育室・軽体育室など運動ができる場所の利用が多く、利用頻度は週に1回程度が多くなっている

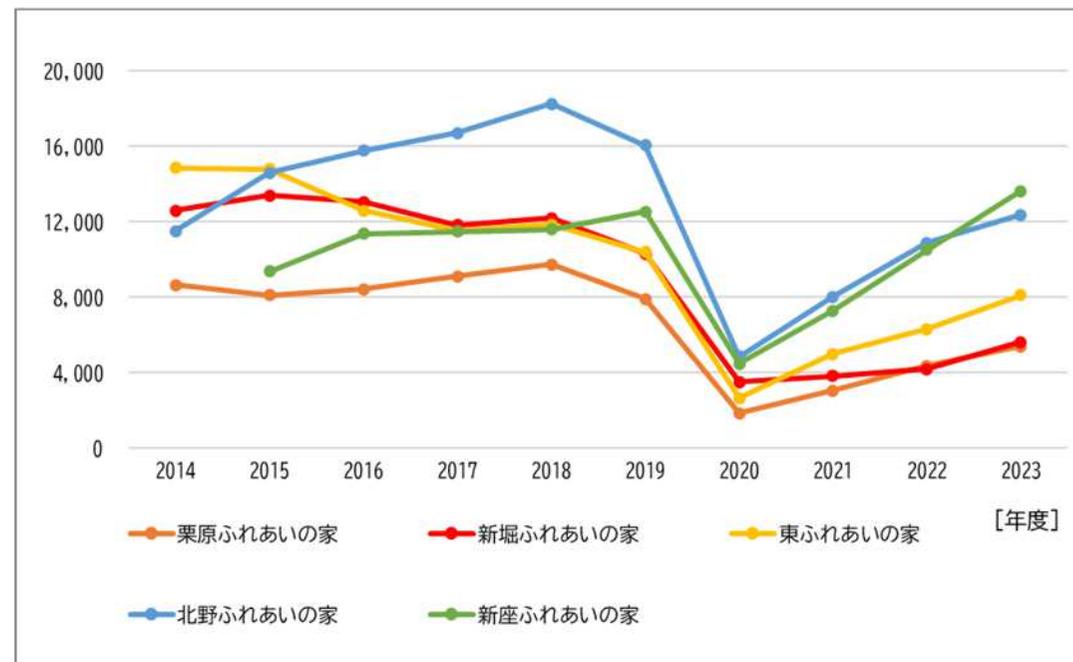
2. 類型別の現状と課題

【2-2 ふれあいの家(集会施設)】 5施設

利用状況の妥当性

- ・利用者数は「新座ふれあいの家」以外、コロナ禍以前の水準に回復していない
- ・各部屋の稼働率データがないが、公民館・コミュニティセンターと同種の機能が配置されているため、和室や実習室などの稼働率の低さが懸念される

図表28 利用者数の推移



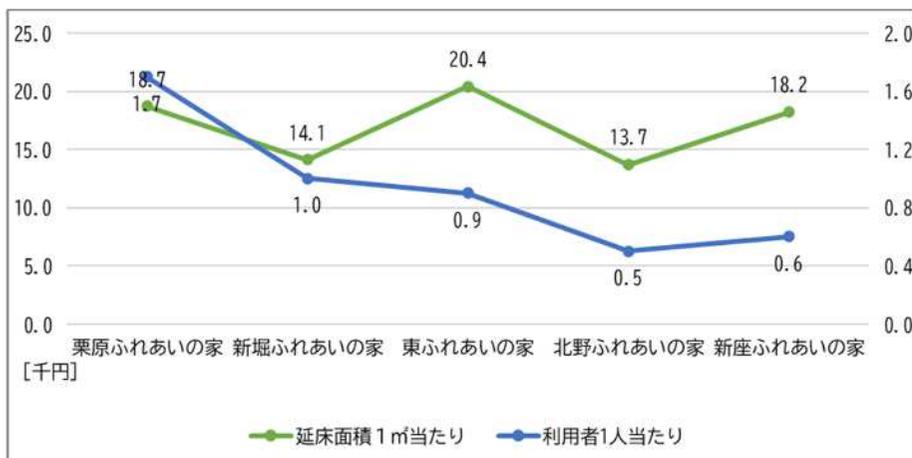
2. 類型別の現状と課題

【2-2 ふれあいの家(集会施設)】 5施設

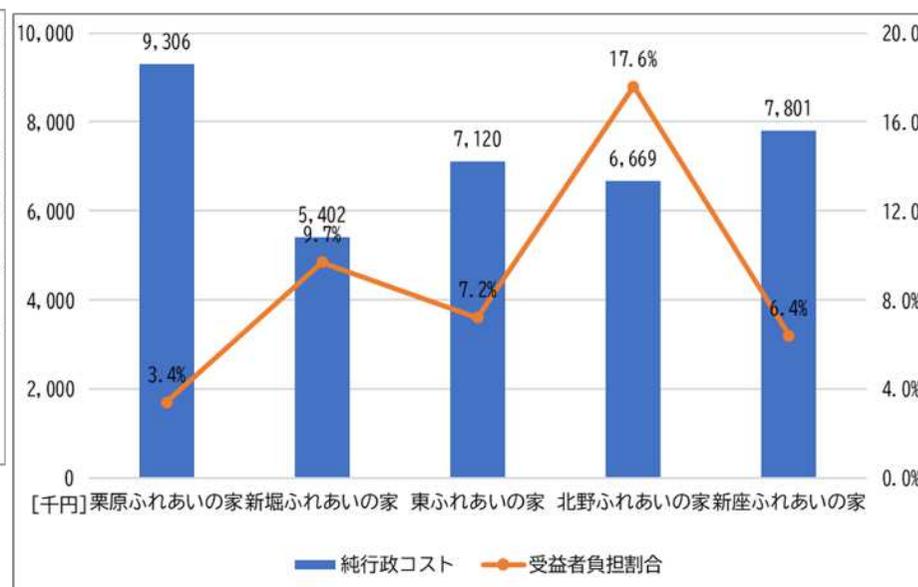
コストの妥当性

- ・利用者1人当たりの純行政コストは「栗原ふれあいの家」、延床面積1㎡当たりの純行政コストは「東ふれあいの家」が高い
- ・純行政コストは「栗原ふれあいの家」が高く、「栗原ふれあいの家」、「新座ふれあいの家」、「東ふれあいの家」の受益者負担割合が低い

図表29 利用者1人当たり・延床面積1㎡当たりの純行政コスト



図表30 施設別純行政コストと受益者負担割合



2. 類型別の現状と課題

【2-2 ふれあいの家(集会施設)】 5施設

機能や運営の妥当性

- ・民間では各種習い事や貸しスタジオなどが類似したサービス・機能と考えられ、市有施設では公民館・コミュニティセンターや集会所が同様の機能を有している。

建物の機能の妥当性

- ・築30年を超える施設が3施設あり、大規模改修の実施時期が課題となる

その他

- ・利用者アンケート調査結果では、利用目的が「趣味・サークル」や「運動・体操・ダンス」が大半を占め、軽体育室など運動ができる場所や会議室の利用が多く、利用頻度は週に1回～月に1回程度が多くなっている

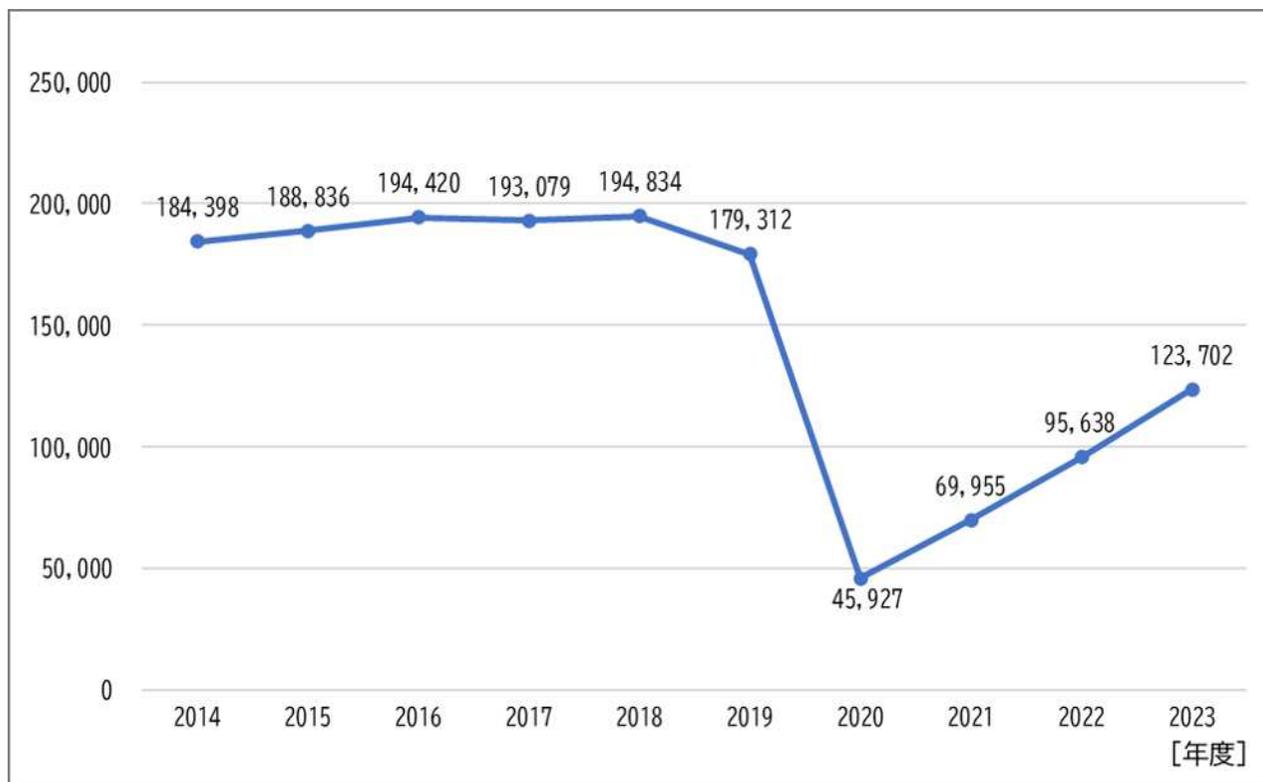
2. 類型別の現状と課題

【2-3 集会所(集会施設)】 37施設

利用状況の妥当性

- ・コロナ禍を経て(2019年度以前)に利用者数が戻った施設は3施設(野寺・大和田一丁目・新座一丁目)のみで、多くの施設は2019年度の5割程度の利用者数となっている

図表31 利用者総数の推移



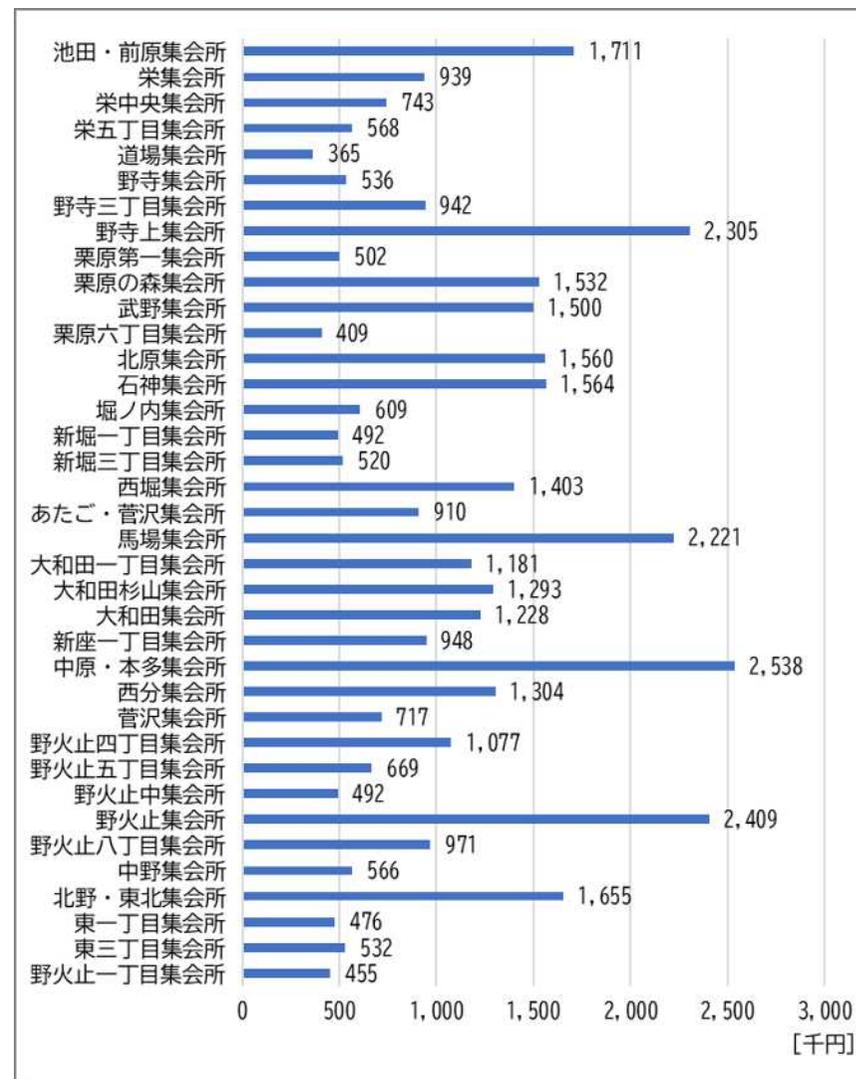
2. 類型別の現状と課題

【2-3 集会所(集会施設)】 37施設

コストの妥当性

- ・純行政コストは「中原・本多集会所」、「野火止集会所」、「野寺上集会所」、「馬場集会所」が高い
- ・利用者1人当たりの純行政コストは「野火止八丁目集会所」、「菅沢集会所」、「中野集会所」、「大和田杉山集会所」が高い
- ・延床面積1㎡当たりの純行政コストは「野火止集会所」、「馬場集会所」が高い

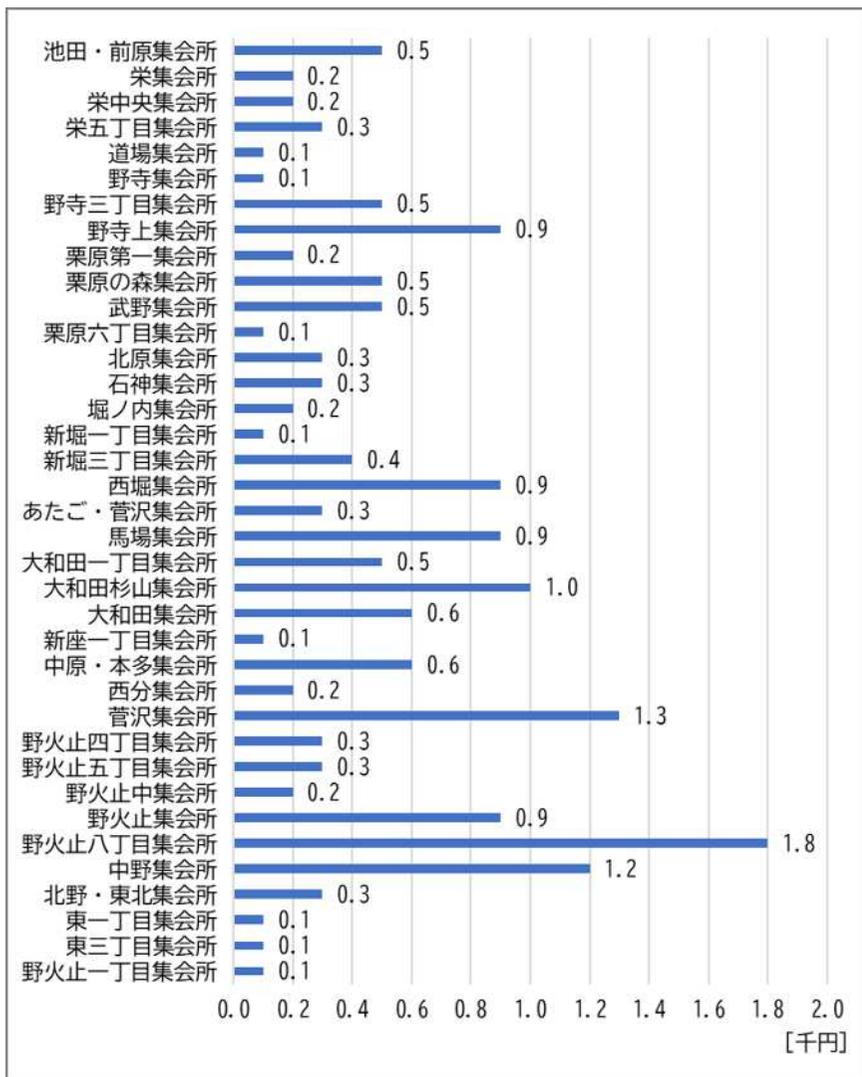
図表32 施設別純行政コスト(2023年度)



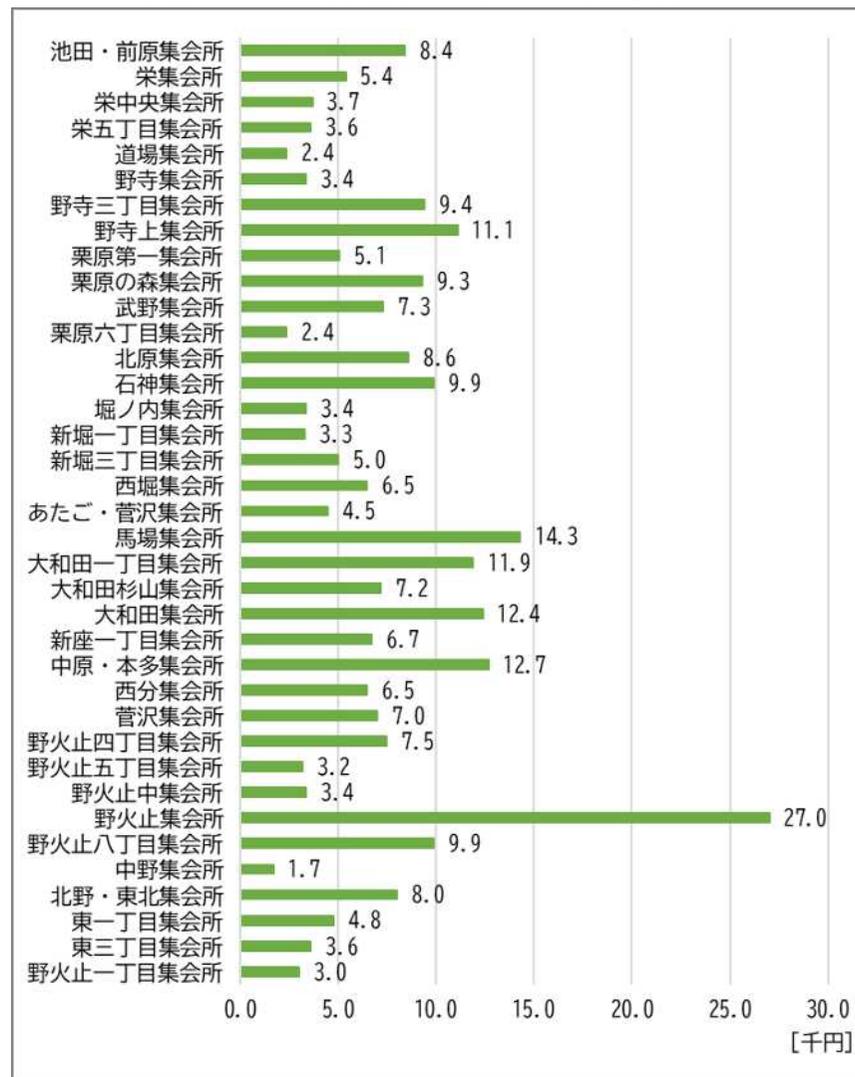
2. 類型別の現状と課題

【2-3 集会所(集会施設)】 37施設

図表33 利用者1人当たりの純行政コスト



図表34 延床面積1㎡当たりの純行政コスト



2. 類型別の現状と課題

【2-3 集会所(集会施設)】 37施設

機能や運営の妥当性

- ・民間では各種習い事や貸しスタジオなどが類似したサービス・機能と考えられ、市有施設では公民館・コミュニティセンターやふれあいの家が同様の機能を有している。

建物の機能の妥当性

- ・築40年を超える施設が9施設あり、うち耐震性能が無い施設が4施設ある
- ・13施設が借地、2施設が一部借地となっている

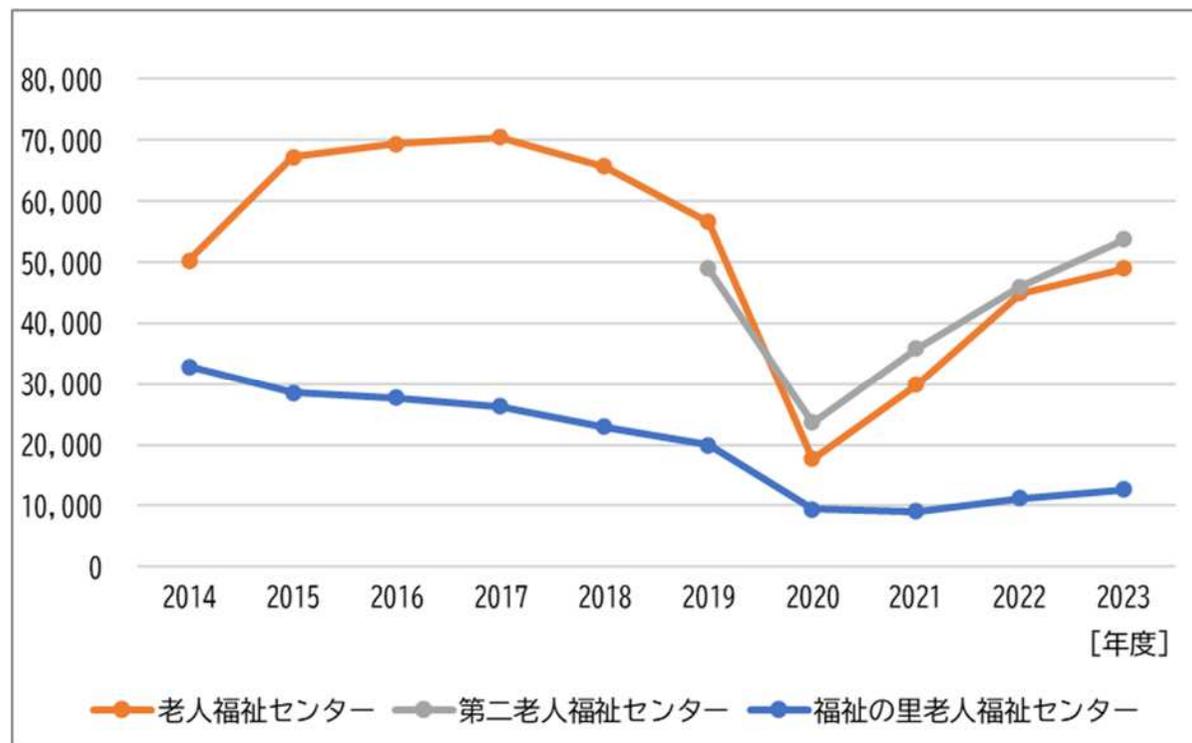
2. 類型別の現状と課題

【2-4 高齢福祉施設】 3施設

利用状況の妥当性

- ・コロナ禍を経て(2019年度以前)徐々に利用者数が戻りつつあるが、「福祉の里老人福祉センター」はコロナ禍前の水準まで回復していない

図表35 利用者数の推移



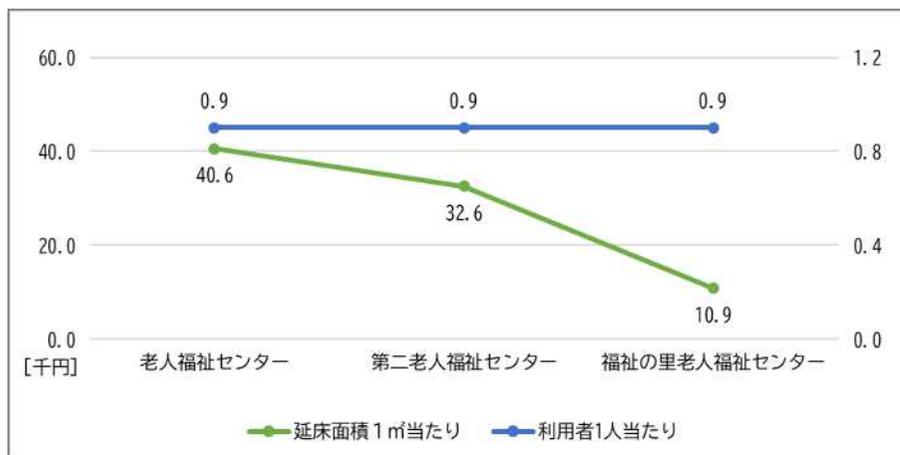
2. 類型別の現状と課題

【2-4 高齢福祉施設】 3施設

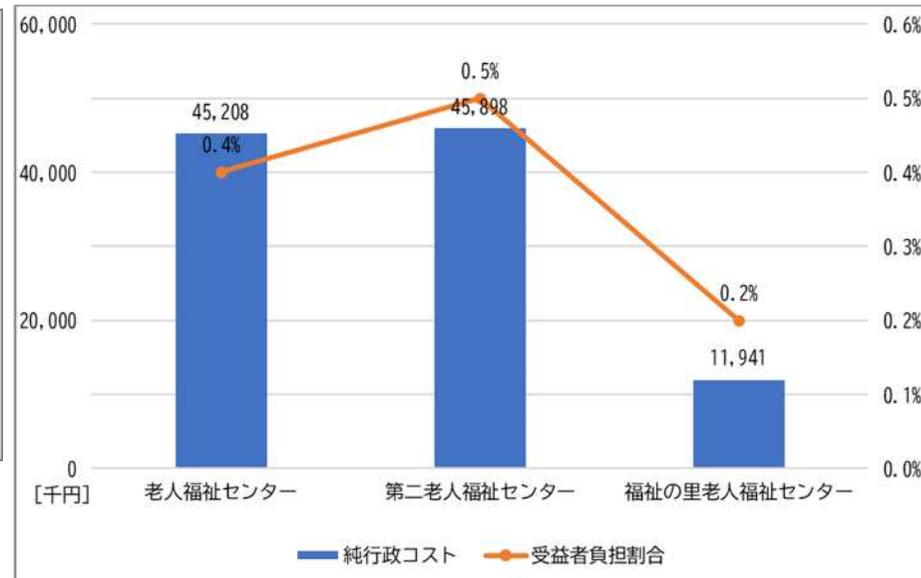
コストの妥当性

- ・利用者1人当たりの純行政コストは3施設とも同じだが、延床面積1㎡当たりの純行政コストは「福祉の里老人福祉センター」が低くなっている
- ・いずれの施設も受益者負担割合が低い(0.2～0.5%)

図表36 利用者1人当たり・延床面積1㎡当たりの純行政コスト



図表37 施設別純行政コストと受益者負担割合



2. 類型別の現状と課題

【2-4 高齢福祉施設】 3施設

機能や運営の妥当性

- ・小学校併設のいきいき広場や各種集会施設、民間の入浴施設がある

建物の機能の妥当性

- ・「老人福祉センター」はまもなく築50年を迎えることから老朽化対策が必要
- ・「福祉の里老人福祉センター」も築30年を超えるため、大規模改修の実施時期が課題となる

その他

- ・利用者アンケート調査結果では、利用目的のほとんどが「趣味・サークル」となっており、大広間や浴室の利用が多く、利用頻度は週に複数回が多くなっている

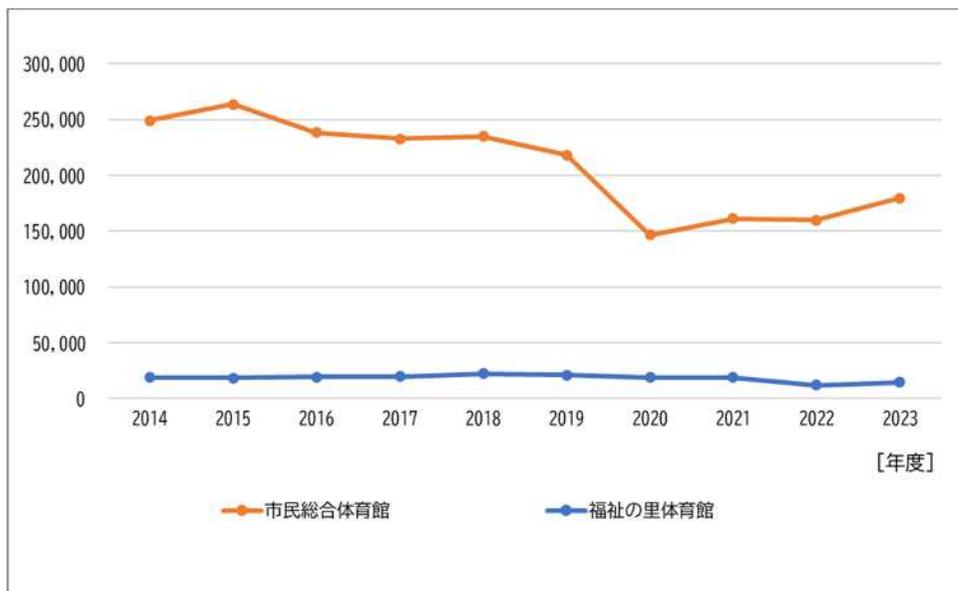
2. 類型別の現状と課題

【2-5 スポーツ施設】 2施設

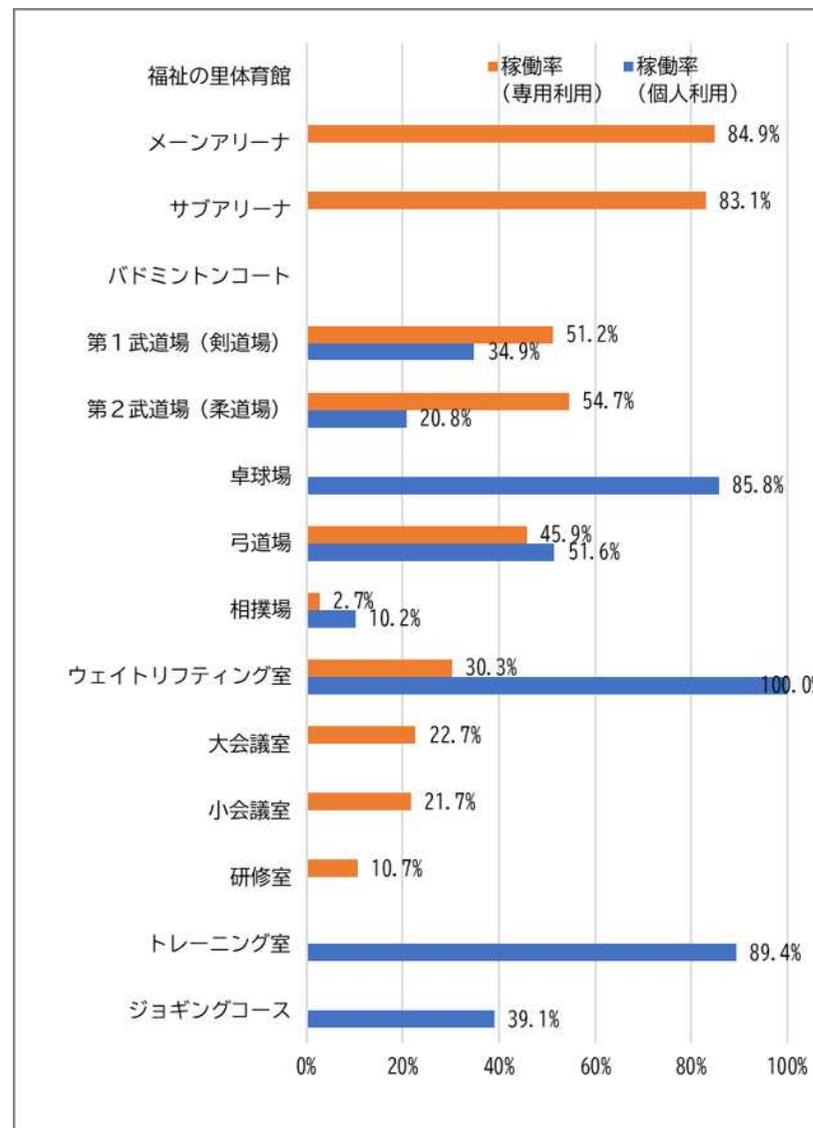
利用状況の妥当性

- ・市民総合体育館のメインアリーナとサブアリーナ、ウェイトリフティング室(個人利用)やトレーニング室、卓球場の稼働率が高い。
- ・相撲場、大・小会議室、研修室の稼働率は低い

図表38 利用者数の推移



図表39 部屋別稼働率(2023年度)



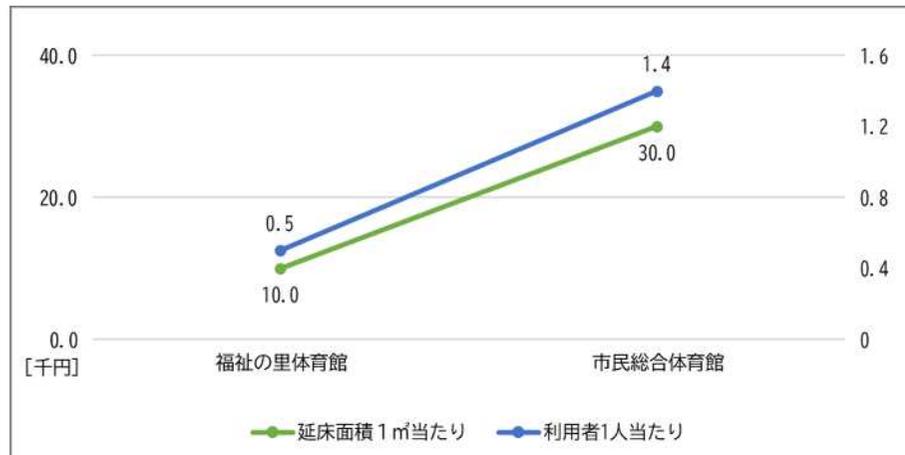
2. 類型別の現状と課題

【2-5 スポーツ施設】 2施設

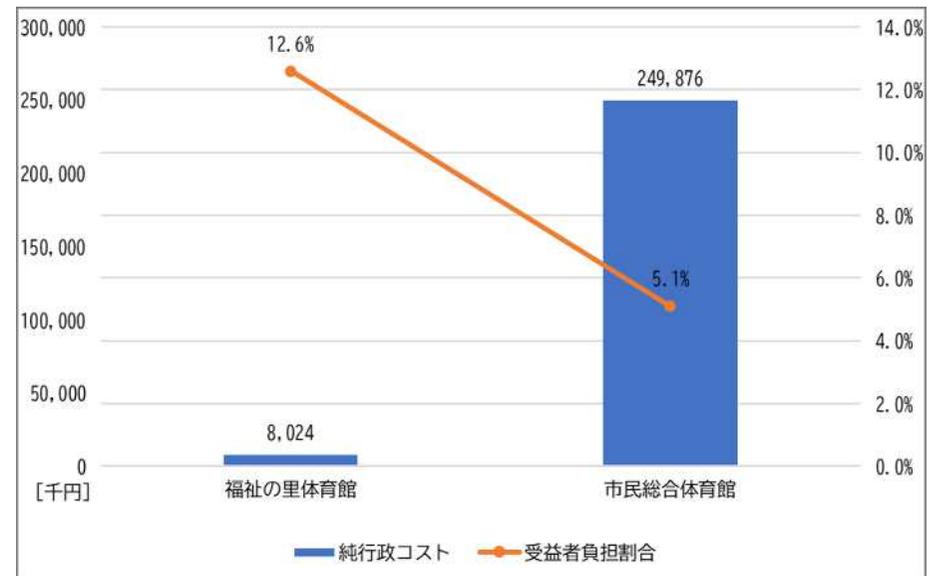
コストの妥当性

- ・利用者1人当たり及び延床面積1㎡当たりの純行政コストは「市民総合体育館」が高い
- ・純行政コストが高い「市民総合体育館」は受益者負担割合は5%程度と低くなっている

図表40 利用者1人当たり・延床面積1㎡当たりの純行政コスト



図表41 施設別純行政コストと受益者負担割合



2. 類型別の現状と課題

【2-5 スポーツ施設】 2施設

機能や運営の妥当性

- ・特に稼働率が高いトレーニング室に関しては民間で類似した機能を持つ施設が複数ある

建物の機能の妥当性

- ・どちらの施設も築30年を超えるため、大規模改修の実施時期が課題となる

その他

- ・利用者アンケート調査結果では、多様な世代が利用しており、「市民総合体育館」は「個人利用」、「福祉の里体育館」は「趣味・サークル」での利用が多くなっている
- ・「市民総合体育館」は週に1回程度、「福祉の里体育館」は週に複数回の利用頻度が多くなっている

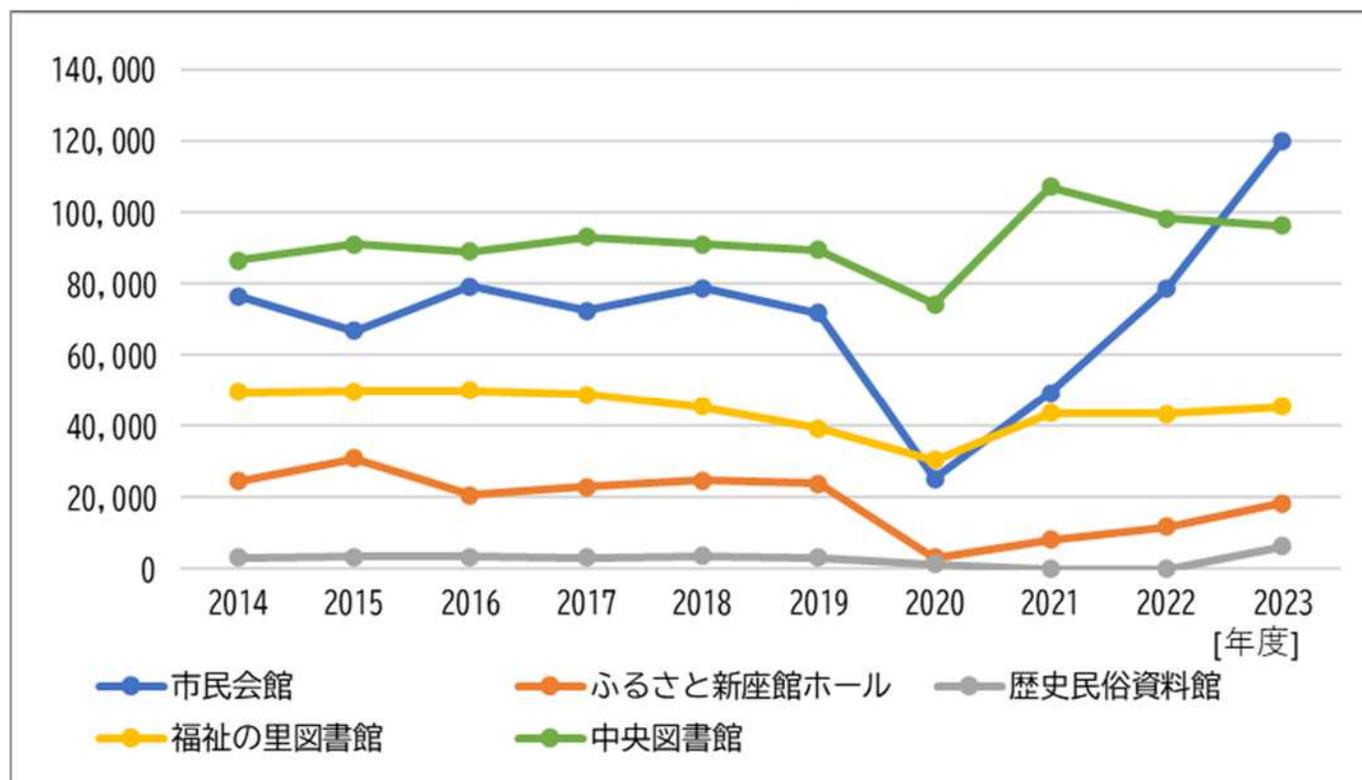
2. 類型別の現状と課題

【2-6 文化施設等】 6施設

利用状況の妥当性

・「市民会館」と「中央図書館」はコロナ禍を経て、2019年度以前の水準を上回っており、他の施設も利用者数がコロナ禍以前の水準に回復している

図表42 利用者数の推移



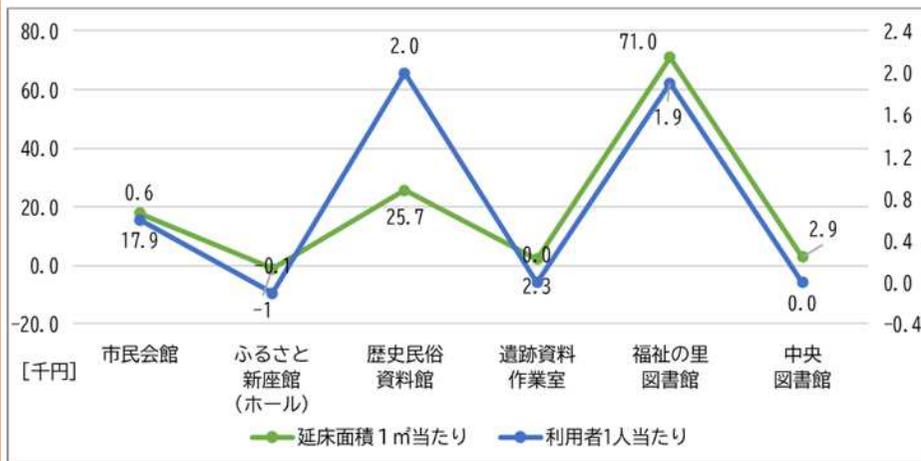
2. 類型別の現状と課題

【2-6 文化施設等】 6施設

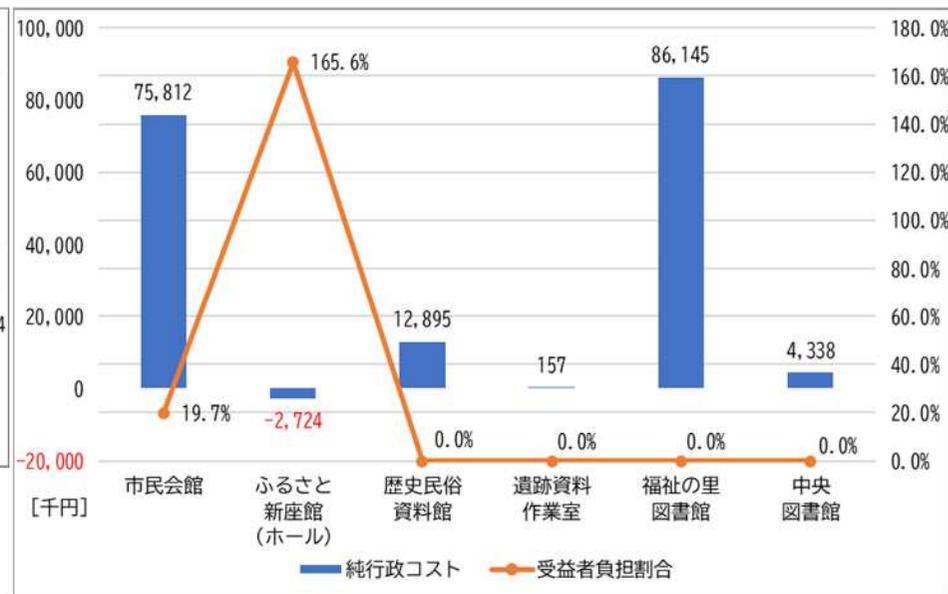
コストの妥当性

- ・「福祉の里図書館」は「中央図書館」に比べ利用者1人当たり及び延床面積1㎡当たりの純行政コストが高くなっている(指定管理者制度を導入しているため)
- ・「市民会館」は受益者負担割合が約20%、ふるさと新座館(ホール)は約166%と他の施設に比べ高くなっている

図表43 利用者1人当たり・延床面積1㎡当たりの純行政コスト



図表44 施設別純行政コストと受益者負担割合



2. 類型別の現状と課題

【2-6 文化施設等】 6施設

機能や運営の妥当性

- ・民間で全く同じ機能を持つ施設はない。

建物の機能の妥当性

- ・複合施設である「市民会館」と「中央図書館」が築40年を超えているが、大規模改修(耐震改修及び内外装のリニューアル)は実施済みとなっている
- ・「遺跡資料作業室」と「福祉の里図書館」は築30年を超えるため、大規模改修の実施時期が課題となる

その他

- ・利用者アンケート調査結果では、「市民会館」、「中央図書館」共に多様な世代が利用しており、利用頻度は2週間に1回～月に1回程度が多くなっている

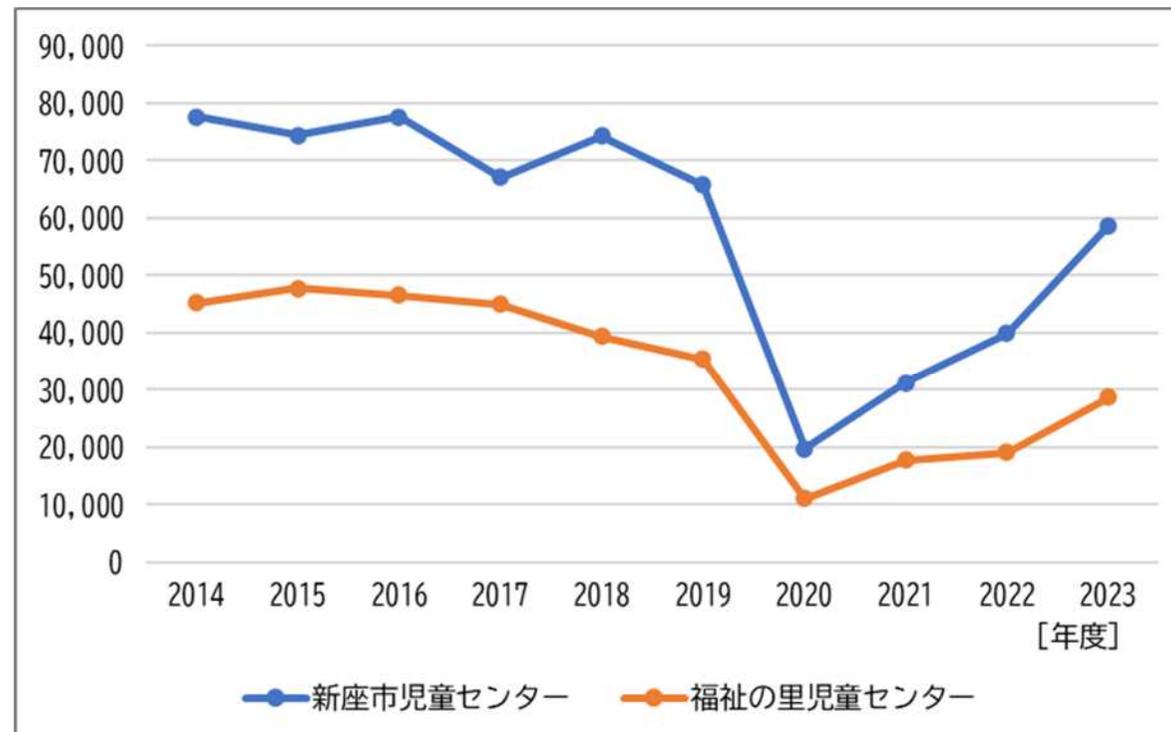
2. 類型別の現状と課題

【2-7 児童センター】 2施設

利用状況の妥当性

- ・コロナ禍を経て(2019年度以前)徐々に利用者数が戻りつつあるが、コロナ禍前の水準まで回復していない

図表45 利用者数の推移



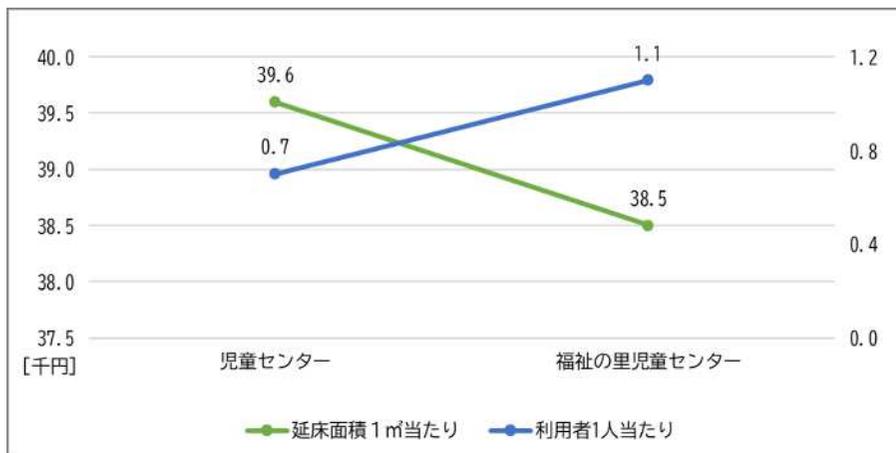
2. 類型別の現状と課題

【2-7 児童センター】 2施設

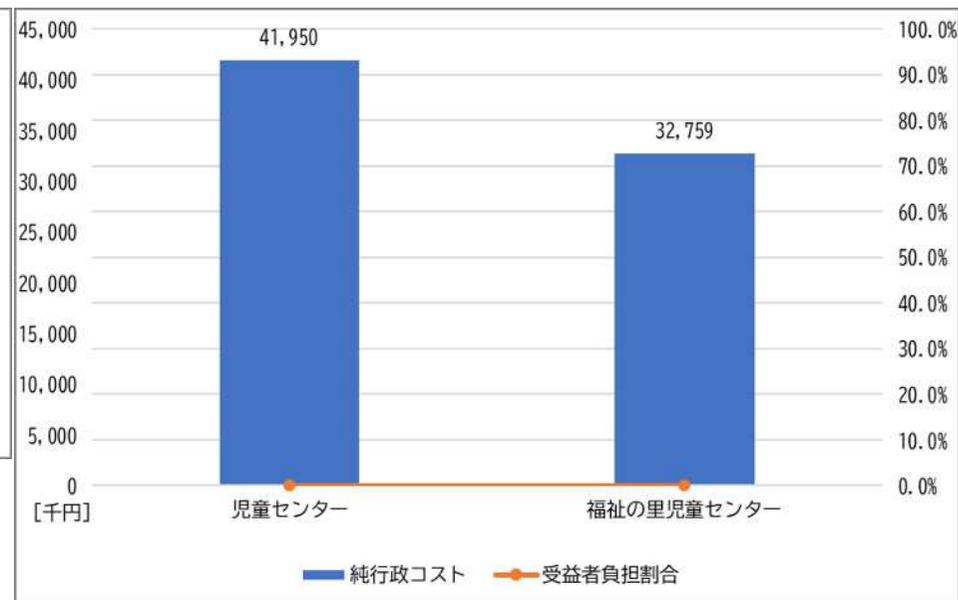
コストの妥当性

- ・純行政コストは利用者1人当たり0.7～1.1千円、延床面積1㎡あたりは約40千円となっている
- ・純行政コストは「児童センター」が高く約42,000千円となっている
- ・無料の施設のため、受益者負担はない

図表46 利用者1人当たり・延床面積1㎡当たりの純行政コスト



図表47 施設別純行政コストと受益者負担割合



2. 類型別の現状と課題

【2-7 児童センター】 2施設

機能や運営の妥当性

- ・民間等で類似施設はない

建物の機能の妥当性

- ・「児童センター」が築40年を超えるため老朽化対策が課題となる
- ・複合施設である「福祉の里児童センター」は築30年を超えるため、大規模改修の実施時期が課題となる

その他

- ・利用者アンケート調査結果(参考)では、小学生は週に複数回の利用が多くなっている

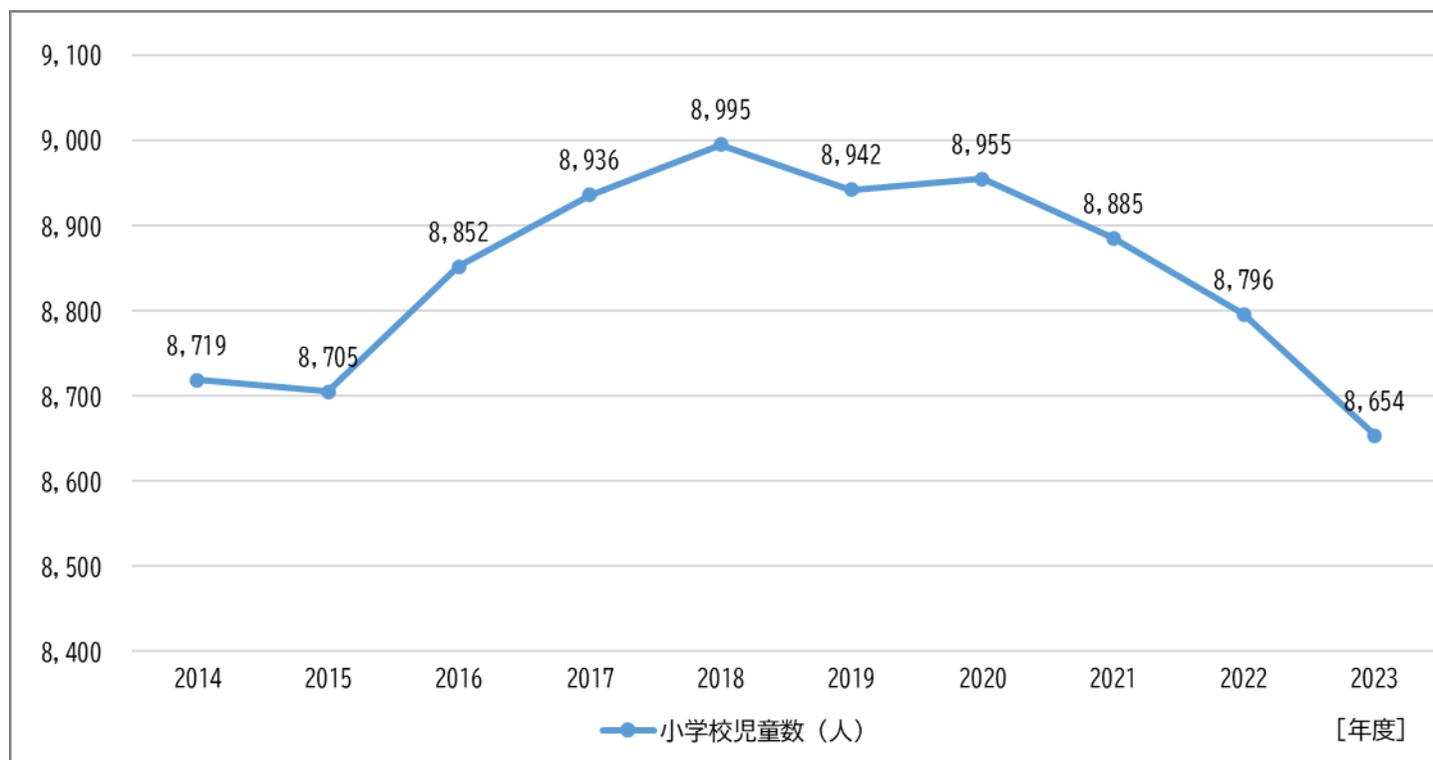
2. 類型別の現状と課題

【2-8 学校】 23施設

利用状況の妥当性

- ・小学校の児童数は、2018年度まで増加し、その後、減少傾向となり2023年度は8,654人
- ・最も児童数が最も多いのは「東北小学校」で799人、次いで「大和田小学校」で780人
- ・最も児童数が最も少ないのは「新座小学校」で290人、次いで「八石小学校」で292人

図表48 小学校児童数の推移



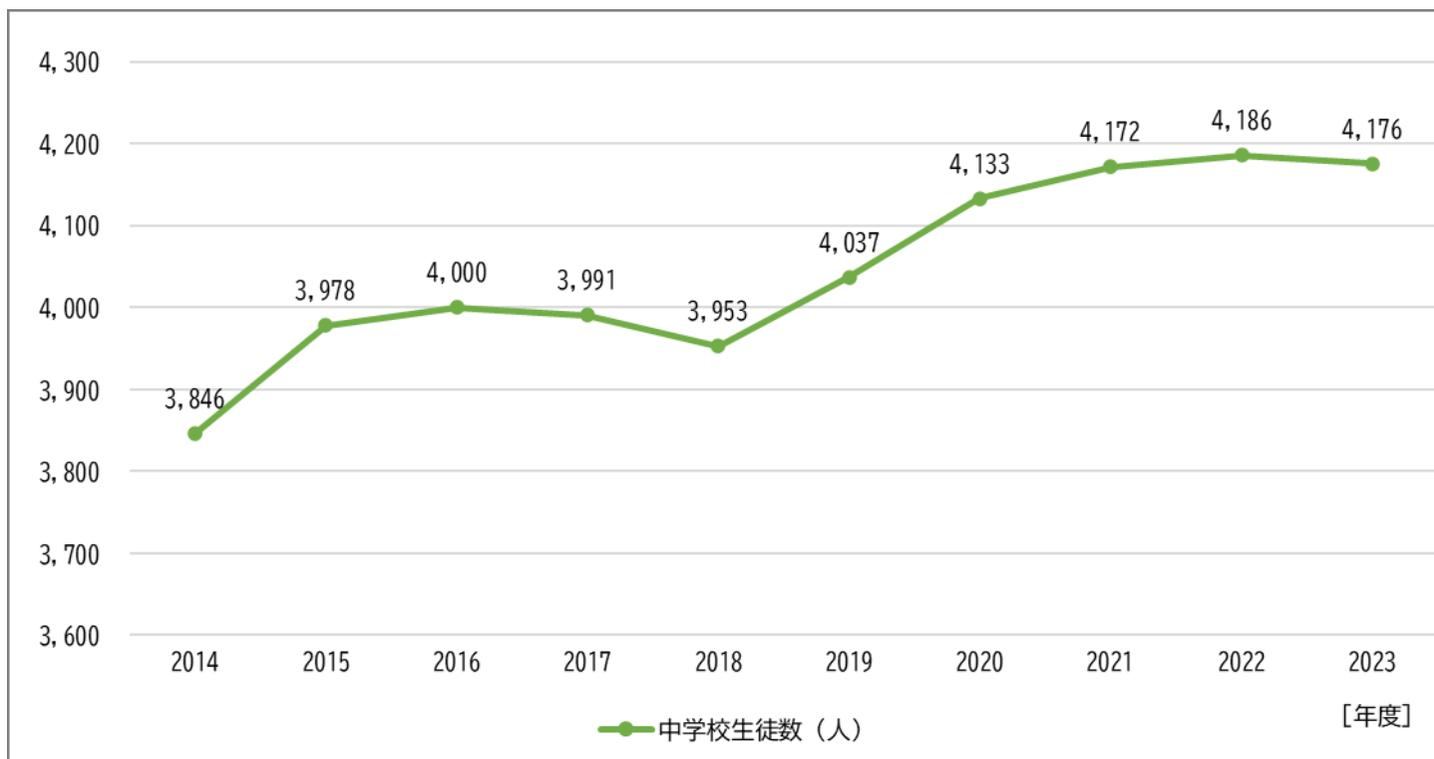
2. 類型別の現状と課題

【2-8 学校】 23施設

利用状況の妥当性

- ・中学校の生徒数は2022年度まで増加傾向にあり、2023年度は4,176人と微減
- ・生徒数が最も多いのは「第二中学校」で981人、次いで「第三中学校」で775人
- ・生徒数が最も少ないのは「第四中学校」で493人、次いで「新座中学校」で515人

図表49 中学校生徒数の推移



2. 類型別の現状と課題

【2-8 学校】 23施設

コストの妥当性

- ・純行政コストは、小学校では大和田小学校が高く、中学校では第四中学校が高くなっている
- ・中学校は、体育館・武道場への空調設備設置工事に係る投資的経費がコスト増の要因
- ・利用者1人当たりの純行政コストは、約89千円が平均となっているが、施設によって大きく差が出ており、小学校では「西堀小学校」、中学校では「第四中学校」や「新座中学校」は高くなっている
- ・延床面積1㎡あたりでは、「第三中学校」や「第四中学校」が高くなっている

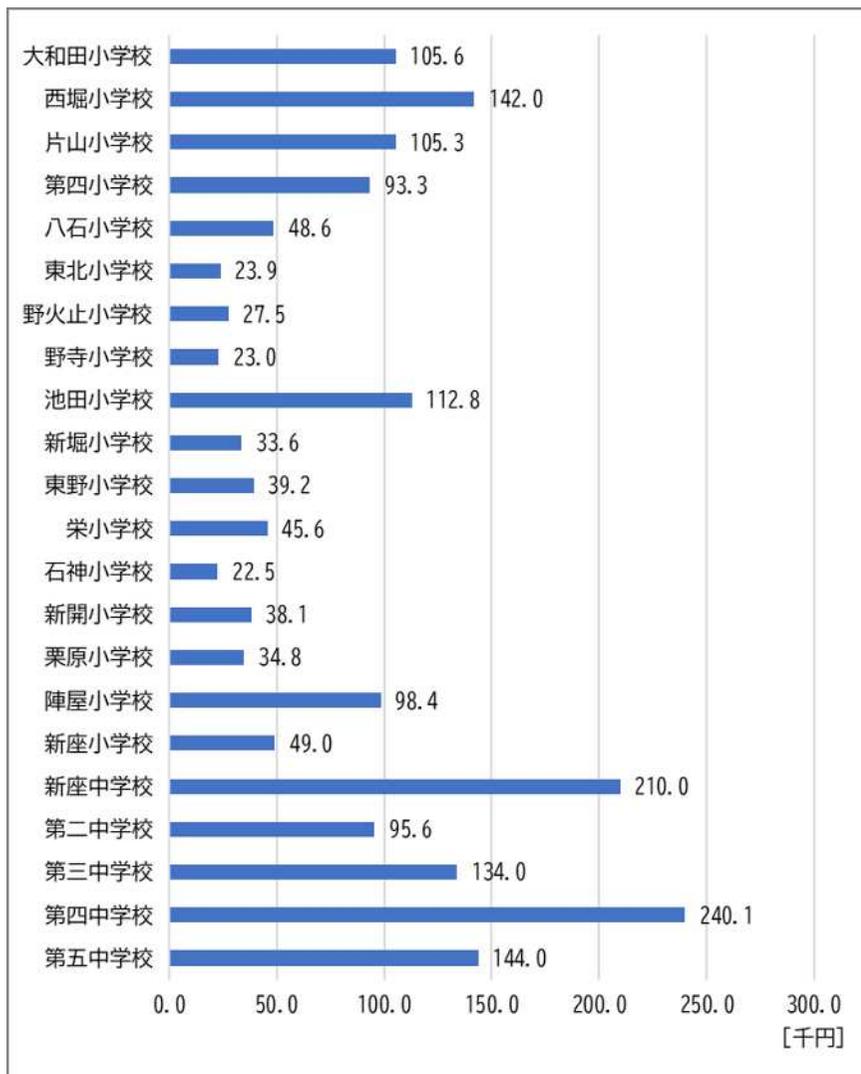
図表50 施設別純行政コスト(2023年度)



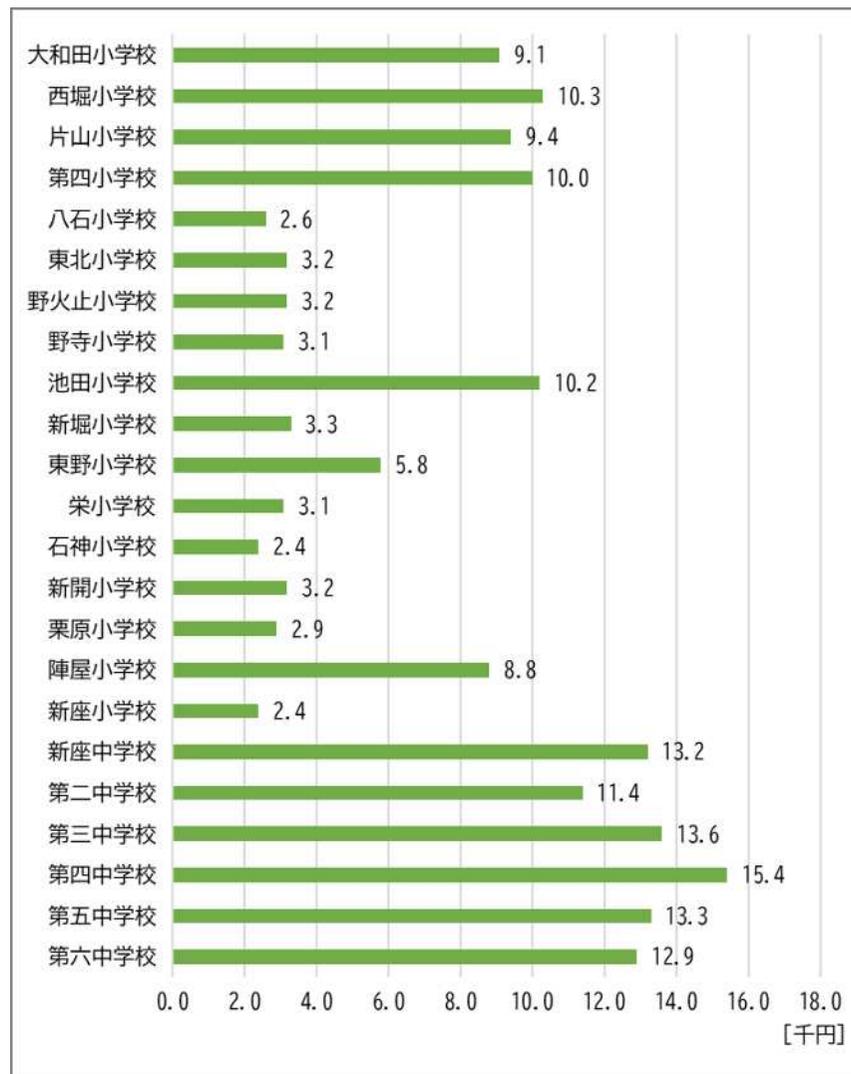
2. 類型別の現状と課題

【2-8 学校】 23施設

図表51 利用者1人当たりの純行政コスト



図表52 延床面積1㎡当たりの純行政コスト



2. 類型別の現状と課題

【2-8 学校】 23施設

機能や運営の妥当性

- ・私立小学校・中学校を選択する児童・生徒もいる

建物の機能の妥当性

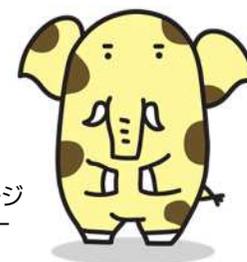
- ・23校中12校が築50年を超えており、施設規模が大きいことから、「学校施設長寿命化計画」に基づく長寿命化等の計画的な実施や財源の確保が課題となる
- ・23校中8校は一部借地となっている
- ・所管課ヒアリング結果では、維持管理の観点からも、小学校プールについては今後も民間委託を検討していく必要がある

その他

- ・参考として示した、令和12年度(2030年度)までの各校の児童・生徒数の推計結果を見ると、小・中学校の適正規模に関する国の考えにおいて示されている、小学校は「1学年2学級以上」、中学校は「9学級以上」を確保していくことが困難となる小学校が5校と想定されていることから、立地状況、学区編成等を踏まえて学校施設の再編など、今後のあり方を検討していく必要がある

(4)今後の予定について

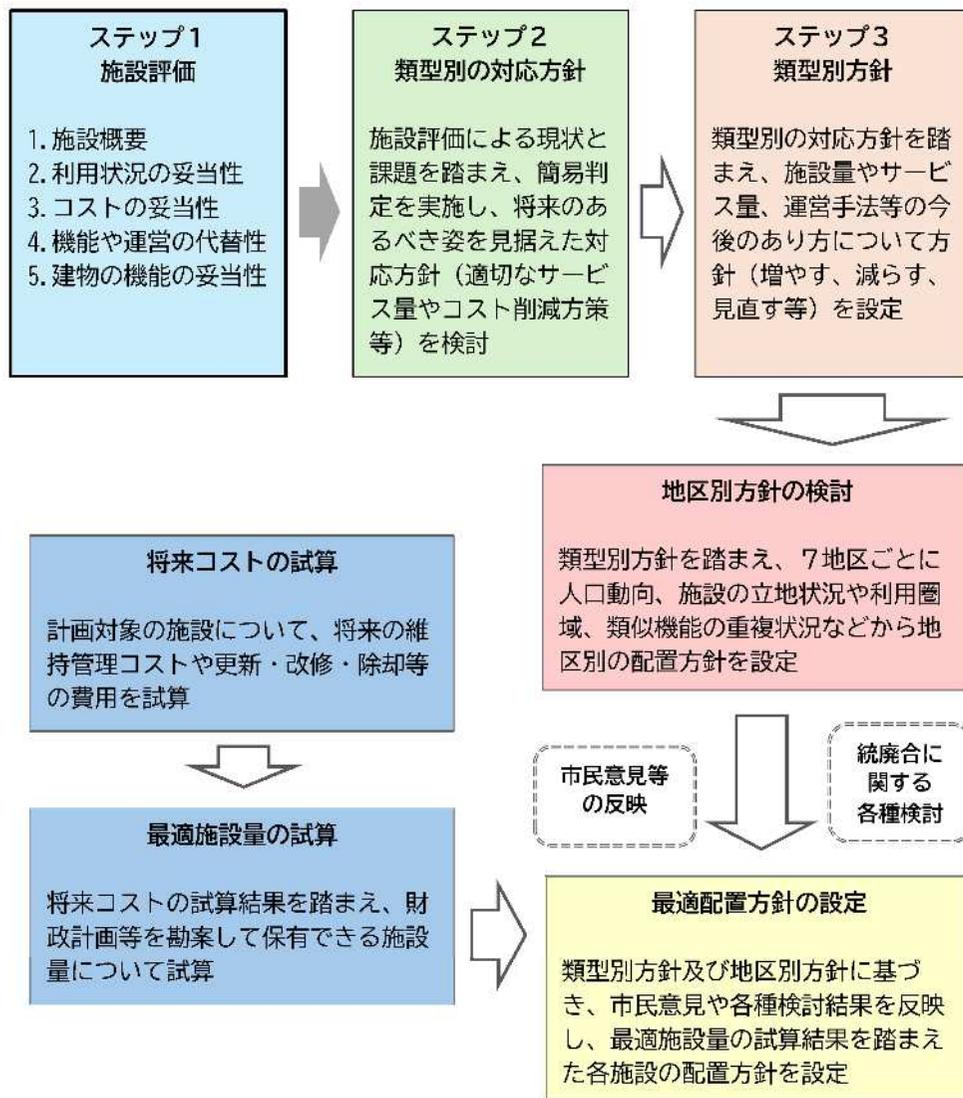
新座市イメージ
キャラクター
ゾウキリン



1.各種検討の流れ

【1-1 検討の進め方】

・新座市が管理を行う公共施設等を取り巻く様々な課題解決のため、中長期的な視点を持って、効果的、効率的な資産管理を行っていく必要があることから、「新座市公共施設等総合管理計画（平成28年3月策定、令和5年3月改訂）」に位置付けた公共施設等の管理に関する3つの基本的な考え方を踏まえ、類型別の方針の検討を行う



1.各種検討の流れ

【1-2 施設評価(ステップ1)】

- ・本計画対象の144施設を分類した17類型について、施設所管課が作成した施設カルテのデータやヒアリング結果などから、5つの施設評価項目(施設概要、利用状況の妥当性、コストの妥当性、機能や運営の妥当性、建物の機能の妥当性)について分析し、類型別の現状と課題を取りまとめた(本審議会資料4)

【1-3 類型別の対応方針(ステップ2)】

(1)簡易判定(簡易判定ツールによる施設評価)

- ・ステップ1の施設評価に加え、本計画対象の144施設について、各種条件設定を行い、簡易的に施設の方向性(判定結果は8種類)について判定を行う

(2)類型別の対応方針

- ・本計画対象の144施設について、提供している市民サービスの内容等を踏まえ検討方法を3区分する
- ・その上で、以下の検討方法により課題に対応する類型別の対応方針を設定する

1.各種検討の流れ

【1-3 類型別の対応方針(ステップ2)】

検討対象と検討区分

| 区分 | 区分内容 | 検討方法 | 類型 |
|-------|--|--|--|
| 類型内検討 | 同種の市民サービスを提供している施設で、利用状況やコスト等を比較し、必要な市民サービス内容や量を検討する区分 | <ul style="list-style-type: none"> ・施設評価 ・類型内比較 ・類型全体での市民サービス供給状況 ・現状と課題 | 公民館・コミュニティセンター ふれあいの家 集会所 高齢福祉施設 障がい福祉施設 スポーツ施設 |
| 単体検討 | 市民サービス提供内容が唯一であるなど、類型での比較が該当しない施設については、施設単体での市民サービスのあり方を検討する区分 | <ul style="list-style-type: none"> ・施設評価 ・現状と課題 | 庁舎等 文化施設等 保健施設 児童センター その他施設 |
| 所管課検討 | 所管課が類型毎に検討・再編を進めている、または進めることが妥当であるため、その方向性を軸に市民サービスのあり方を検討する区分 | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取組状況など(ヒアリング結果) | 幼児・児童施設 幼稚園・保育園・こども園 消防施設 公園施設 自転車駐車場等 |

1.各種検討の流れ

【1-4 類型別方針(ステップ3)】

- ・17類型別に設定した課題解決のための対応方針を踏まえ、類型内比較の施設については、類型内での施設量やサービスの提供量の方針を定める
- ・単体検討及び所管課検討の施設についても、コスト削減のための方策や運営手法のあり方、維持管理に当たって実施すべき事業等について方針を定める

(4) 今後の予定について

2.新座市公共施設再配置計画審議会の開催予定

令和6年度

令和6年11月29日 令和6年度 第1回審議会
[計画概要、市民アンケート調査について など]

令和7年3月24日 令和6年度 第2回審議会
[市民アンケート調査結果、施設評価 など]

令和7年度

令和7年 7月予定 令和7年度 第1回審議会
[類型別・地区別方針の検討(前半) など]

令和7年 8月予定 令和7年度 第2回審議会
[類型別・地区別方針の検討(後半) など]

令和7年10月予定 令和7年度 第3回審議会
[パブリック・コメント手続前の素案の取りまとめ、
学校施設の再配置に当たっての基本的な考え方
の整理など]

令和8年 2月予定 令和7年度 第4回審議会
[パブリックコメント手続の報告、最終計画案の
取りまとめ、答申]